北海道大学
文学部

School of
Humanities and Human Sciences
Hokkaido University

www.let.hokudai.ac.jp

2024年度 北海道大学 文学部

2024

School of Humanities
and Human Sciences
Hokkaido University

北海道大学
文学部

TOP MESSAGE

文学部長からのメッセージ

文学部への誘い

北海道大学文学部は、人文科学科という一つの学科から構成されています。人文科学とはなじみのない言葉かもしれませんが、英語ではhumanities and human sciencesと私たちは表現しています。つまり人文学（humanities）と人間科学（human sciences）の二つの分野からなっているのです。

人文学とは、哲学・歴史学・文学など、人間が行ってきた様々な知的営みを研究する分野です。これに対して、人間科学とは人間を対象としたあらゆる科学的研究の総称であり、文学部ではその中でも人間の心理や行動、集団に関する研究を行う心理学・社会学などの分野を対象としています。文学部とは決して「文学」のみを学ぶところではなく、人間について幅広く研究する場なのです。

高校で学ぶ国語・英語及び社会科のほとんどの科目の内容を文学部で深く学ぶことができますし、芸術学・宗教学・文化人類学・言語学・心理学・行動科学など高校で学習しなかった領域の勉強を始めることもできます。北大文学部では実に多様な学問分野の教育が展開されており、みなさんが関心をもてる分野が必ず見つかるはずです。このような教育環境で、自分が専門とする領域を追究するだけではなく、それに隣接する、あるいはかなり離れた分野の知識も幅広く得ることができます。私たちが重視する、自分の得意な分野を深めつつ幅広い視点を身につけるという姿勢は、日々刻々と変化していく現代社会を生き抜く上で、生涯揺らぐことのない支えとなるでしょう。

文学部で学ぶ学問は、実社会ではあまり役に立たず就職に不利ではないかと思う人もいるようですが、卒業論文という形で長くまとまった文章を自力で書き上げる経験はかけがえのないものですし、何よりも文学部で身につける広い視野と物事をじっくり考え抜く力は、これからの予想困難で複雑さを極める社会において必ずや求められる能力となります。留学支援も充実しており、国際社会での活躍に向けて第一歩を真っ先に踏み出すチャンスが得られます。優れた著作を丹念に読み解き、他の人の意見を正しく理解した上で、自らの主張をわかりやすく表現する能力が培われるよう、私たち教員は学生のみなさんと日々真剣に向き合っています。

緑豊かで広大な北大キャンパスという恵まれた環境の中、興味のつきない学問に真正面から取り組みながら、自身の人間性を豊かなものにすることのできる文学部という学びの場に身を置いてみませんか。

北海道大学文学部長
藤田 健　ふじた たけし

CONTENTS

文学部概要
書香の庭 …… 03-04
人文知のユニヴァース 4コース 18研究室 …… 05-06
文学部の4年間 …… 07-08

各コース紹介

哲学・文化学コース
コース紹介／教員から／研究室紹介 …… 09-10
コースの授業例／先輩から …… 11
教員紹介／卒業論文テーマ …… 12

歴史学・人類学コース
コース紹介／教員から／研究室紹介 …… 13-14
コースの授業例／先輩から …… 15
教員紹介／卒業論文テーマ …… 16

言語・文学コース
コース紹介／教員から／研究室紹介 …… 17-18
コースの授業例／先輩から …… 19
教員紹介／卒業論文テーマ …… 20

人間科学コース
コース紹介／教員から／研究室紹介 …… 21-22
コースの授業例／先輩から …… 23
教員紹介／卒業論文テーマ …… 24

卒業論文 …… 25-26
留学制度 …… 27-28
資格・免許 …… 29-30
卒業後の進路・就職 …… 31-34
大学院進学 …… 35-36
研究者に学ぶ …… 37-40
入試関連情報 …… 41
学生サポート情報 …… 42
キャンパスマップ …… 43

書香の庭（しょこう）

SHOKOU no NIWA

文学部の教員が、新入生と一緒に読みたい本を紹介。多彩な教員が、皆さんをお待ちしています。

蔵田 伸雄 教授 推薦
純粋理性批判（上・下）
イマヌエル・カント（著）
石川文康（訳）
筑摩書房

田口 茂 教授 推薦
知恵の樹
―生きている世界は どのようにして生まれるのか
ウンベルト・マトゥラーナ、フランシスコ・バレーラ（著）
管啓次郎（訳）
筑摩書房

近藤 智彦 准教授 推薦
国家（上・下）
プラトン（著）
藤沢令夫（訳）
岩波書店

佐野 勝彦 准教授 推薦
働きたくないイタチと言葉がわからロボット
人工知能から考える「人と言葉」
川添愛（著）
朝日出版社

宮園 健吾 准教授 推薦
自然宗教をめぐる対話
ヒューム（著）
大塚元（訳）
岩波書店

村松 正隆 教授 推薦
笑い
ベルクソン（著）
増田靖彦（訳）
光文社古典新訳文庫

林寺 正俊 教授 推薦
世界古典文学全集
仏典（I・II）
筑摩書房

宮嶋 俊一 教授 推薦
祈り
フリードリヒ・ハイラー（著）
宮嶋俊一（共訳）
国書刊行会

佐々木 啓 特任教授 推薦
精神の生態学
グレゴリー・ベイトソン（著）
佐藤良明（訳）
新思索社

川口 暁弘 教授 推薦
王政復古
慶応三年十二月九日の政変
井上勲（著）
中央公論新社

権 錫永 教授 推薦
日本の禍機
朝河貫一（著）
講談社

谷本 晃久 教授 推薦
近世風俗志
―守貞謾稿（1～5）
喜田川守貞（著）
宇佐美英機（校訂）
岩波書店

橋本 雄 教授 推薦
贈与の歴史学
儀礼と経済のあいだ
桜井英治（著）
中央公論新社

吉開 将人 教授 推薦
わが半生
愛新覚羅溥儀（著）
小野忍（訳）

佐藤 健太郎 教授 推薦
省察すべき実例の書、アラブ人、ペルシャ人、ベルベル人および彼らと同時代の偉大な支配者たちの歴史に関する説き起こしとその結末の集成
イブン・ハルドゥーン（著）

村田 勝幸 教授 推薦
ブルシット・ジョブ
クソどうでもいい仕事の論理
デヴィッド・グレーバー（著）
酒井隆史他（訳）
岩波書店

山本 文彦 教授 推薦
ハーメルンの笛吹き男
伝説とその世界
阿部謹也（著）
ちくま文庫

小杉 康 特任教授 推薦
神話の力
ジョーゼフ・キャンベル（著）
早川書房

國木田 大 准教授 推薦
縄文と世界遺産
人類史における普遍的価値を問う
榎岸洋（著）
筑摩書房

小田 博志 教授 推薦
エスノグラフィー入門
小田博志（著）
春秋社

山口 未花子 准教授 推薦
生きる智慧はフィールドで学んだ
現代人類学入門
山口未花子、ケイトリン・コーカー、小田博志（著）
ナカニシヤ出版

浅沼 敬子 教授 推薦
Circulating World
循環する世界
浅沼敬子（著）
ユミコチバアソシエイツ

今村 信隆 准教授 推薦
初版 古寺巡礼
和辻哲郎（著）
ちくま学芸文庫

佐々木 亨 特任教授 推薦
文化の「発見」
吉田憲司（著）
岩波書店

瀬名波 栄潤 教授 推薦
セルロイド・クローゼット
（DVD）
ロブ・エプスタイン&ジェフリー・フリードマン（監督）
ヴィト・ルッソ（原作）

竹内 康浩 教授 推薦
宮沢賢治
存在の祭りの中へ
見田宗介（著）
岩波書店

戸田 聡 教授 推薦
Biblia Graeca
（Septuaginta & Novum Testamentum Graece）
A. Rahlfs / R. Hanhart（編）
Deutsche Bibelgesellschaft

小椋 彩 准教授 推薦
人形
ボレスワフ・プルス（著）
関口時正（訳）
未知谷

宮下 弥生 助教 推薦
The Winter's Tale
William Shakespeare（著）

野本 東生 准教授 推薦
平安朝文章史
渡辺実（著）
東京大学出版会

近藤 浩之 教授 推薦
戦国縦横家書
大西克也・大櫛敦弘（著）
東方書店

田村 容子 教授 推薦
中国飛翔文学誌
空を飛びたかった 綺麗な人たちにまつわる十五の夜噺
武田雅哉（著）
人文書院

弛 和順 教授 推薦
列女伝（1・2・3）
劉向（著）
中島みどり（訳注）
平凡社

応 雄 教授 推薦
シネマ（1・2）
ジル・ドゥルーズ（訳）
法政大学出版局

押野 武志 教授 推薦
日本探偵小説を知る
押野武志他（編・著）
北海道大学出版会

水溜 真由美 教授 推薦
文化と帝国主義
エドワード・W・サイード（著）
みすず書房

加藤 重広 教授 推薦
新訳 ソシュール 一般言語学講義
フェルディナン・ド・ソシュール（著）
小林英夫（訳）／町田健（訳）
岩波書店／研究社

佐藤 知己 教授 推薦
フェルディナン・ド・ソシュール 一般言語学講義 抄
フェルディナン・ド・ソシュール（著）
大学書林

野村 益寛 教授 推薦
英語の感覚・日本語の感覚
池上嘉彦（著）
NHKブックス

藤田 健 教授 推薦
The Wind-up Bird Chronicle
Haruki Murakami（著）

菅井 健太 准教授 推薦
比較で読みとく スラヴ語のしくみ
三谷惠子（著）
白水社

蔦 清行 准教授 推薦
古語雑談
佐竹昭広（著）
岩波書店

河原 純一郎 教授 推薦
認知心理学者が教える最適の学習法
ヤナ ワインスタイン、メーガン スメラック、オリバー カヴィグリオリ（著）
山田 祐樹（監修）
岡崎 善弘、松本 康（翻訳）
東京書籍

小川 健二 准教授 推薦
脳のなかの幽霊
V・S・ラマチャンドラン（著）
サンドラ・ブレイクスリー（著）
山下篤子（訳）
KADOKAWA

大沼 進 教授 推薦
生態学と社会科学の接点
シリーズ 現代の生態学 全11巻【4】巻
佐竹 暁子・巌佐 庸（編）
共立出版

結城 雅樹 教授 推薦
信頼の構造
こころと社会の進化ゲーム
山岸俊男（著）
東京大学出版会

瀧本 彩加 准教授 推薦
動物たちは何を考えている？
―動物心理学の挑戦―
藤田和生（著・編）
日本動物心理学会（監修）
技術評論社

竹澤 正哲 教授 推薦
協力する種
制度と心の共進化
サミュエル・ボウルズ（著）
ハーバート・ギンタス（著）
竹澤正哲・高橋伸幸他（訳）
NTT出版

中島 晃 助教 推薦
統計思考の世界
曼荼羅で読み解く データ解析の基礎
三中信宏（著）
技術評論社

櫻井 義秀 教授 推薦
しあわせの宗教学
ウェルビーイング研究の視座から
櫻井義秀（編）
法藏館

平澤 和司 教授 推薦
格差の社会学入門
学歴と階層から考える
平沢和司（著）
北海道大学出版会

平松 誠 講師 推薦
都市の村人たち
―イタリア系アメリカ人の階級文化と都市再開発
ハーバート J.ガンズ（著）
松本 康（翻訳）
ハーベスト社

清水 香基 助教 推薦
宗教意識の国際比較
質問紙調査のデータ分析
真鍋一史（著）
北海道大学出版会

橋本 雄一 教授 推薦
二訂版 QGISの基本と防災活用
橋本雄一（編）
古今書院

笹岡 正俊 教授 推薦
東南アジア地域研究入門
1環境
山本信人（監修）
井上真（編）
慶應義塾出版会

宮内 泰介 教授 推薦
小さな民からの発想
顔のない豊かさを問う
村井吉敬（著）
時事通信社

高橋 昂輝 准教授 推薦
トポフィリア
人間と環境
イーフー・トゥアン（著）
小野有香・阿部一（訳）
筑摩書房

立澤 史郎 特任助教 推薦
ソロモンの指環
動物行動学入門
コンラート・ローレンツ（著）
日高敏隆（訳）
早川書房

ラフェイ・ミシェル 教授 推薦
My Lantern
河井道（著）

教員の著書や美術作品を展示「書香の森」

文学部のエントランスにある「書香の森」では、教員の著書が展示されており、興味のある本はすぐ近くの文学部図書室で借りることができます。北海道大学が収集・保管している美術作品の企画展示や読書会も開催され、気軽な情報交換にも活用できるスペースです。

ウェブ版「書香の森」

書香の森に展示されている図書と文学部発行の雑誌、企画展示について紹介する場所です。

https://www.let.hokudai.ac.jp/book/

2019年度から4コース18研究室に進化
伝統とハイブリッドの学びで究める

人文知のユニヴァース

体系的な学びで卒業論文執筆を応援

文学部の伝統的な学問分野を基礎とする4コース制にすることにより、中核となる専門分野の学修を進めながら、個々人の問題意識や関心に応じて、他分野や融合分野を学修することができ、卒業論文に向けた体系的な学修ができます。

2019年度以降は、1研究室が複数コースを担当することがなくなり、1研究室1コース制となったため、これまで以上にきめ細かく学生の履修指導を行う体制が整備されました。

哲学・文化学コース

Philosophy and Cultural Studies

哲学倫理学、宗教学インド哲学、芸術学、博物館学から構成されています。「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、「人間はいかに生きるべきか」を考究し、人間の精神的な営みの具体的な結果としての文化現象を探求します。

哲学倫理学研究室

宗教学インド哲学研究室

芸術学研究室

博物館学研究室

歴史学・人類学コース

History and Anthropology

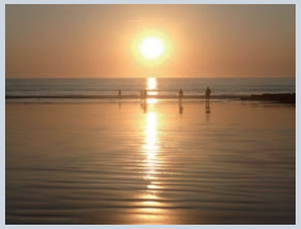
世界の諸地域諸民族の社会と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法によって学ぶことを課題としています。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。

日本史学研究室

東洋史学研究室

西洋史学研究室

考古学研究室


文化人類学研究室

学びの特徴

一人ひとりの探究心を細やかに応援しています。

- コースの定員はなく、希望通りのコースを選択できます。
- 授業選択の自由度が高い柔軟なカリキュラムです。
- コースの途中変更も可能です。
- 学びの集大成〈卒業論文〉執筆の達成感が味わえます。

言語・文学コース

Linguistics and Literature

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。ことばの歴史と仕組みを時代・地域で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を言語・映像・情報で分析するという研究を学びます。

欧米文学研究室

日本古典文化論研究室

中国文化論研究室

映像・現代文化論研究室

言語科学研究室

人間科学コース

Human Sciences

人間の行動や社会のしくみを、収集したデータの分析に基づき、実証的視点から理解することを目的としています。心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などの科目があり、実験やフィールド調査の手法について体系的に学びます。

心理学研究室

行動科学研究室

社会学研究室

地域科学研究室

広大な緑のキャンパスで学ぶ

のびやかに成長できる文学部の4年間

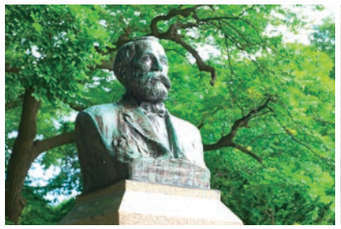
北海道大学文学部の履修の流れ

●1年次
1年生全員が総合教育部に所属
幅広い教養と外国語の基礎を習得

●2年次
文学部に進級、コースと研究室を選択
専門研究の入口に立つ

●3年次
取り組みたい研究テーマを絞り込み
希望者は2〜4年次に留学の機会も

●4年次
指導教員の細やかな指導のもと
学びの集大成「卒業論文」を執筆



北大ならではの魅力

恵まれた学びの環境

一大グリーンキャンパス「エルムの森」

北大はJR札幌駅まで徒歩圏内、地下鉄も好アクセスのロケーション。緑のキャンパスライフは生涯の思い出に。

質・量ともに国内屈指の図書館

北大の総蔵書数は約378万冊、雑誌約8万5千種、文学部図書室は蔵書約21万冊、雑誌約3千5百種を有します。リモートアクセスにより、電子ジャーナル等約7万6千種のデジタルコンテンツにもアクセスできます。

文学部学生用PC室でレポート作成や就活も

文学部生なら誰でも利用可能、学部内にしっかりPC室を確保。「時間を有効に使える」と好評です。

奨学金や留学制度も充実 多彩な支援で学生生活を応援

北海道大学はさまざまな場面で学生生活を多角的にサポート。みなさんのチャレンジを応援します。

研究室で深まる信頼関係 生涯の友と出会う研究室

一生モノの出会いが待つ研究室は心身ともに“居場所”となる空間。旅行や北大名物「ジンパ」など研究室独自の行事も充実!

キャンパスカレンダー

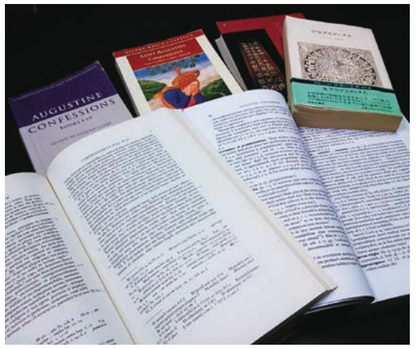
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入学前					●オープンキャンパス					●大学入学共通テスト	●一般選抜前期日程	●前期日程合格発表 ●一般選抜後期日程・合格発表	入学前
1年次	●入学式 文学部は1〜4組に、文系総合は14〜15組に所属。 ●履修登録 指定された単位を修得するように選択登録。毎年4月と10月に行う。		●大学祭 クラス・サークルごとの模擬店やさまざまなイベントがもりだくさん。			●第1回履修コース説明会 4コースの説明を聞いた上で、各研究室を実際に訪問。自分の関心と合うかどうかを検討し始める。					●第2回履修コース説明会 コースと研究室を絞り込む。	●文学部移行・コース確定 全員が希望コースへ。	1年次
2年次	●2年次進級式・ガイダンス 文学部での学生生活の始まり。学修に関する ガイダンスが開かれる。				夏休み（8月中旬〜9月末）	●合宿 研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。			冬休み（12月下旬〜1月上旬）			春休み（2月中旬〜3月末）	2年次
3年次			●第1回 大学院進学説明会			●合宿 研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。		●就職ガイダンス 就職に関する情報を得るガイダンス。 ●第2回 大学院進学説明会					3年次
4年次	●卒論指導教員の決定		●教育実習 教員免許を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。	●博物館実習 学芸員資格を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。		●大学院入試（前期）	●卒論題目届を提出 指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。論文作成もいよいよ追い込みへ。		●卒論提出	●卒論口述試験 試験の内容はコース・研究室で異なる。	●大学院入試（後期）	●卒業決定者発表 ●学位記授与式 学位「学士（文学）」を授与。 ●卒業祝賀会 文学部同窓会主催。	4年次

哲学・文化学コース

Philosophy and Cultural Studies

人間の精神と、その営みの本質に迫る。

哲学・文化学コースは、哲学、倫理学、宗教学、インド哲学・仏教学、
芸術学、博物館学といった専門分野から、思想と文化の根源に迫ります。
古代から現代までの人類の思索の跡をたどりながら、
「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、
人類の普遍的なテーマである「人間はいかに生きるべきか」を考究していきます。
さらに人間の精神的な営みによって創造された
具体的な結果としての文化現象を探求します。



哲学倫理学研究室

長い歴史をもつ哲学・倫理学の知を学ぶと共に、現代世界に差し迫った思想的諸問題について考えていきます。

宗教学インド哲学研究室

宗教学・宗教史学、新約聖書学、死生学、仏教学、インド哲学などに関連する事柄について深く学ぶことができます。

芸術学研究室

ひとつの芸術作品に織り込まれている思想、歴史、他者との関係、個人の心情など多様な要素を読解することが芸術学の課題です。

博物館学研究室

ミュージアム（博物館・美術館・動植物園など）の歴史とあるべき姿を、コレクションとマネジメントの調査から探求して行きます。

教員から

「変革」を求める前に
—基礎固めとしての思想・文化探求

宗教学インド哲学研究室　眞鍋 智裕 准教授

現代は新しいもの、変革が必要とされ、もてはやされている時代です。それは思想・宗教・芸術分野においても例外ではありません。しかし、古来「温故知新」という言葉があるように、新しい思想的・文化的価値を生み出すには、同時代人を含めた先達たちの思想的・文化的営為を探求する必要があることでしょう。ところが変革を是とする現代社会においては、この探究に対する十分な時間が確保できません。そのようななか、大学時代はこの思想的・文化的営為の探求にじっくりとうちこめる唯一の時期です。皆さんも「変革」を求める前に、じっくりと基礎固めに取り組んでみませんか。

先輩から

自分の関心や悩みを言語化できるようになりました

哲学・文化学コース 3年生　佐藤 舞 さん

（2023年5月取材時に撮影）

普遍的な感情や認識の根拠に関する哲学書を読むのが好きで、哲学・文化学コースに進みました。学部生・大学院生・先生たちの研究室が全て同じフロアにあり、研究や進路の相談を気軽にできる環境です。授業にも他のコースや、ときには他学部の学生たちがいて刺激になります。皆との会話を通して、自分がぼんやりと抱いていた関心や悩みを言語化できるようになりました。分からないことを分からないと自覚し、それをきちんと人に言えるようになったことも大きな変化だと思います。

今取り組んでいる研究テーマは、17世紀のオランダの哲学者・スピノザの思想です。彼の哲学は「神即自然」という言葉でシンプルに表現されることがありますが、本を紐解くうちに彼の思想の面白さと奥深さに気づき、ほんの一部だけなら理解することができるような気がしています。高校時代は倫理の教科書に書いていることが哲学なのだと思っていましたが、実際に学んでみるとかなり単純化して教えられていたことに気づきました。このコースで新しいことを知る楽しみを感じ、大学卒業後も何らかの形で哲学を学び続けていきたいです。

コースの授業例　古典から現代までの文献を講読して思想と文化についてとことん考え抜く一週間。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			博物館概論 博物館概論	博物館資料論 博物館資料論	
2	哲学 チューリングの思考を辿る	哲学 心理学の哲学	宗教学演習 宗教学基礎文献講読	哲学概論 哲学の基本的諸問題	芸術学 現代美術論
3	芸術学演習 美学研究の基礎	芸術学概論 聖堂・修道院と美術		ミュージアム・スタディーズ概論 ミュージアム・スタディーズの世界：コンテンツとマネジメント	インド哲学史概説 バラモン・ヒンドゥー教思想史
4	宗教学概論 過去と現在の宗教理論	倫理学 意志の自由とメタ倫理学	哲学演習 西洋哲学史基礎演習	西洋哲学史概説 近現代哲学史	
5			仏教学概論 仏教学入門		

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。

▲ プラトン、デカルト、カントなど西洋哲学史の基礎文献を読む。学生の問題提起によって議論が発展することも。［哲学演習］

▲ 宗教学の欧文文献を講読。少人数の演習では学生も積極的に発言する。［宗教学演習］

▲ 画像資料も活用しながら、美術作品を宗教・歴史・社会的文脈から考察。［芸術学概論］

▲ この2単位を含め、所定の19単位を修得し卒業すると学芸員資格がとれる。［博物館概論］

研究室・教員・卒業論文テーマ

哲学倫理学研究室

蔵田 伸雄 教授 *KURATA Nobuo*
■研究分野
応用倫理学、規範倫理学・メタ倫理学、西洋近現代哲学（特にカント）

田口 茂 教授 *TAGUCHI Shigeru*
■研究分野
西洋近現代哲学（特に現象学）、意識の学際的研究、日本哲学

村松 正隆 教授 *MURAMATSU Masataka*
■研究分野
近現代フランス哲学、近現代倫理学

近藤 智彦 准教授 *KONDO Tomohiko*
■研究分野
古代ギリシア・ローマ哲学、倫理学

佐野 勝彦 准教授 *SANO Katsuhiko*
■研究分野
論理学（特に非古典論理、哲学的論理学）

宮園 健吾 准教授 *MIYAZONO Kengo*
■研究分野
心の哲学、心理学の哲学、精神医学の哲学、美学、認識論、近世哲学

ヤコプス ケリンアルテミス 特任准教授 *JACOBS Kerrin Artemis*
■研究分野
実践哲学と文化省察

野村 恭史 助教 *NOMURA Yasushi*
■研究分野
現代分析哲学

【卒業論文テーマ例】
- 〈身振り〉の地平へ–ジョルジョ・アガンベンにおけるgesto概念–
- 被害者実名報道をめぐる報道倫理と プライバシー権の問題–京アニ事件を中心に–
- ケイパビリティ達成のための効果的利他主義
- 初期Hare指令主義における道徳文の真理性について –普遍的指令を遂行するための適切性条件の検討–
- シュレーダー＝フレチェットのリスク論と社会的公正
- コミュニケーションとしての音楽 –現象学的身体論からのアプローチ–
- ヘーゲルにおける「物自体」概念の深化 –カント哲学の根本問題への応答–
- 若きショーペンハウア–研究の成果と限界について
- 抵抗する「使用」––セルトーの〈散種〉 ミシェル・ド・セルト–『日常生活の創発性』をめぐって
- 条件文はどのように信念として受け入れられるか?
- ストリートの進化論的暴露論証とその回避について –追跡説の擁護可能性の検討–
- プリーストによるマイノング主義擁護の検討

宗教学インド哲学研究室

林寺 正俊 教授 *HAYASHIDERA Shoshun*
■研究分野
仏教学、仏教思想史

宮嶋 俊一 教授 *MIYAJIMA Shunichi*
■研究分野
宗教学、死生学

佐々木 啓 特任教授 *SASAKI Kei*
■研究分野
新約聖書学、宗教学

眞鍋 智裕 准教授 *MANABE Tomohiro*
■研究分野
インド哲学、インド哲学史

【卒業論文テーマ例】
- 恐山・イタコ訪問者の記述の分析と考察
- ラーマーヌジャにおけるバクティと解脱の関係性
- 雪窓宗崔の排耶書におけるキリスト教批判
- タラル・アサドの宗教論
- 宗教文化士制度の意義と課題ー「宗教文化教育」を問い直すー
- 仏教における「恩」思想の研究
- 中世ヨーロッパにおける魔女狩りについて
- 『阿毘達磨倶舎論』における業の研究

芸術学研究室

浅沼 敬子 教授 *ASANUMA Keiko*
■研究分野 現代美術史

谷古宇 尚 教授 *YAKOU Hisashi*
■研究分野 西洋美術史（イタリア美術史）

今村 信隆 准教授 *IMAMURA Nobutaka*
■研究分野 美学、美術批評史、博物館学

卓 彦伶 特任准教授 *CHO Yenling*
■研究分野 博物館学

【卒業論文テーマ例】
- ルネ・マグリットの絵画としての「詩」の可能性
- 高松次郎の文字作品についての考察
- J.M.W.ターナーの海景画における海の変化と「反射」の表現
- 初期マイセン窯における柿右衛門様式の受容–『色絵花卉柴垣図カップ&ソーサー』の作品分析から–
- 「横たわる人物像」から見るミケランジェロの図像の転用、自己引用と変化
- 北斎の化物絵『百物語』に関する一考察

博物館学研究室

佐々木 亨 特任教授 *SASAKI Toru*
■研究分野 博物館学、文化人類学

久井 貴世 准教授 *HISAI Atsuyo*
■研究分野 動物に関する歴史と文化、博物館学、歴史鳥類学

【卒業論文テーマ例】
- 博物館におけるICT活用に関する研究史と今後の課題–教育普及活動を中心に–
- 日本のエコミュージアム概念の拡張・発展に関する考察 –リヴェールの理念に立ち返って–
- 江戸時代におけるエゾシカの利用:アイヌおよび和人社会の事例を中心に
- 幼児の博物館利用における団体利用と個人利用間の学びの差異について –北海道博物館「世界の昆虫」展の事例から–

歴史学・人類学コース

History and Anthropology

教員から

歴史の研究は史料から
——自らの手で問題を解き明かす喜び

日本史学研究室　橋本 雄 教授

「歴史が好き」という学生が、しばしば我々の研究室に進学してきます。ただし、そこで彼ら彼女らの念頭にあるのは、ほぼ例外なく高校までの「歴史」。要するに、誰かが作ったストーリーをなぞるものに過ぎません。一方、我々が大学でやっている「歴史」は「歴史学」。高校までの「歴史」とは違って、新たな仮説を創造する、熱い (!) 研究分野です。もちろん、手前勝手なやり方では説得力がありません。長い伝統のなかで培われた学問独特の作法があります。そのなかでも一等難しいのが、史料（資料）の扱い方。いわゆる史料批判ですね。その作法を習得するのが、大学での歴史研究といっても過言ではありません。新たな知見の獲得に成功したときの喜びを、一緒に味わってみませんか。

高知県立紙産業技術センターで古文書料紙復元の実験中

人類の歴史を学び、現代世界を理解する

歴史学・人類学コースは、世界のさまざまな地域における人類の歴史と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法を通して学んでいきます。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。

日本史学研究室

古代・中世・近世・近現代のスタッフが揃い、研究テーマは自由に選ぶことができます。時代別の自主ゼミも活発です。

東洋史学研究室

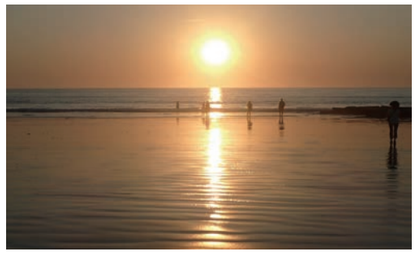
中国（漢字文化圏）と中東イスラーム地域（アラビア語・ペルシア語・トルコ語文化圏）の歴史を研究しています。

西洋史学研究室

古代から現代にいたる時代のヨーロッパの歴史、およびアメリカの歴史を様々な視点から広範囲に研究します。

考古学研究室

考古学はモノ（遺物や遺跡など）の研究によって、文字に記録されなかった歴史を再構成する学問です。



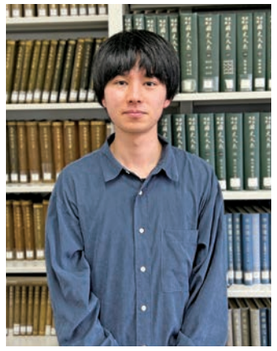
文化人類学研究室

この地球の上で人類は多様な文化を形作ってきました。文化人類学では文化多様性を研究者が現場に身をおきながら明らかにします。

先輩から

史料に描かれていない「謎」に魅かれて歴史学へ

歴史学・人類学コース 3年生　亀井 鼓太郎 さん



（2023年5月取材時に撮影）

歴史学を専攻するきっかけは、「謎」です。日本史学では主に史料と呼ばれる文献に依拠して過去の状況を推察します。しかし、史料に書かれていることは長い歴史の中のごく一部でしかありません。そうすると、描かれていない部分は自然と「謎」となるわけです。その未知の部分に魅かれて歴史学・人類学コースを選択しました。

日本史学は当然、日本で起こったことを研究します。そして、その大部分は日本人が主役です。時が経っているとはいえ、古くからこの地で生活をし、文化を育んできた人々のことですから、どこか感覚的に繋がったものがあると思います。そうして、「自分だったらどうだろう」と歴史の中に自分自身を投影して想像を膨らますことができる点が、日本史学の魅力のひとつです。僕自身の関心は今、日本史学の中でも中世の天文事情に向いています。近年は新しい技術の発展が目覚ましいですが、それらを支えているのは人類の長い歴史です。前ばかりを見つめるのではなく、たどってきた道のりを振り返り、見つめ直すのも楽しいと思います。その歴史の深さ、面白さをぜひ一緒に味わいましょう。

コースの授業例　世界各地、各時代を構成する人々の営みを史資料を通して追求する。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	日本史学演習 近代日本の歴史と文化	日本史学概論 日本史学研究法	日本史学 近世日本社会論	東洋史学 20世紀苗族復興運動の研究	日本史学 室町・戦国期の日本とアジア
3	東洋史学演習 中東イスラーム史の諸問題	西洋史学演習 アメリカ史研究のパースペクティヴ	考古学概論 学史と資料論	西洋史学概論 西洋史入門	東洋史学 宋代の政治と社会
4	西洋史学演習 フランス近代史	考古学 文化財の保存と活用	文化人類学演習 エスノグラフィー入門	西洋史学 文化史研究の射程	考古学演習 考古学の基礎技術（石器研究法）
5					

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。

▲ 人類文化の発見・認識の理解を通して日本考古学史を学ぶ。［考古学概論］

▲ 南中国の諸民族、南方国境地帯の歴史から中国近現代史を講義する。［東洋史学］

▲ 室町時代に用いられた、現存しない日明勘合の復元も、日本史研究の重要な一端だ。［日本史学］

▲「文化」概念の変遷に注目しながら、19世紀から現在にいたる文化史研究の軌跡を描く。［西洋史学］

研究室・教員・卒業論文テーマ

日本史学研究室

川口 暁弘 教授 *KAWAGUCHI Akihiro*
■研究分野 日本近代史、明治憲法史

権 錫永 教授 *KWEON Seok-Yeong*
■研究分野 日本近代思想史、植民地期朝鮮文化史

谷本 晃久 教授 *TANIMOTO Akihisa*
■研究分野 日本近世史、北海道地域史

橋本 雄 教授 *HASHIMOTO Yu*
■研究分野 日本中世史、東アジア海域史

吉田 拓矢 講師 *YOSHIDA Takuya*
■研究分野 日本古代史、天文暦算史

【卒業論文テーマ例】
- 越後守護代長尾氏の権力形成過程
- 後花園天皇の皇統に関する研究
- 軍事救護制度における傷痍軍人対策
- 明治初期開拓使工場の労働
- 平秩東作『東遊記』と天明期幕府の蝦夷地調査
- 在満州日本人教育における「現地適応主義」
- 古代の天皇喪葬と葬司
- 細井肇の大アジア主義

東洋史学研究室

佐藤 健太郎 教授 *SATO Kentaro*
■研究分野 中東イスラーム史（特に西地中海地域）

吉開 将人 教授 *YOSHIKAI Masato*
■研究分野 中国近現代史、南中国、民族問題、学術史

梅村 尚樹 准教授 *UMEMURA Naoki*
■研究分野 宋代社会史、思想史

【卒業論文テーマ例】
- 戊戌政変の契機についての再検討
- 宋慶齢の女性論
- 9、10世紀のアッバース朝社会における服装規範−衣服の色に注目して−
- 魏晋南北朝時代の呉興の豪族施氏について
- Tezākirから見るオスマン朝の近代警察機構の形成
- 清代雍正年間河南省における耗羨の帰公と省経費

西洋史学研究室

長谷川 貴彦 教授 *HASEGAWA Takahiko*
■研究分野 近現代イギリス史、歴史理論

松嶌 明男 教授 *MATSUSHIMA Akio*
■研究分野 近現代フランス史

村田 勝幸 教授 *MURATA Katsuyuki*
■研究分野 アメリカ史、アメリカ研究

山本 文彦 教授 *YAMAMOTO Fumihiko*
■研究分野 ドイツ中世・近世史

砂田 徹 特任教授 *SUNADA Toru*
■研究分野 古代ローマ史

安酸 香織 講師 *YASUKATA Kaori*
■研究分野 近世ヨーロッパ史、アルザス地域史

【卒業論文テーマ例】
- 紀元前ヒスパニアにおける「ローマ化」と先住民反乱−セルトリウス戦争を手がかりに−
- 19世紀におけるドイツ・ナショナリズムと音楽活動 −ベルリン、ウィーンを中心に−
- ウィンドバンドの誕生と発展 〜フランス革命期を中心に〜
- イーノック・パウエルの〈人種主義〉−「血の河演説」(1968年)の批判的考察−
- 近世神聖ローマ帝国における魔女裁判 −糾問訴訟の展開に即して−
- ハリウッドにおける人種公正性
- 古代ローマの辺境要塞における兵士−ウィンドランダ木板書簡から−
- リドレス運動期以降の日系アメリカ人を中心としたアジア系の連帯
- 「女性の権利」のグローバルヒストリー−GHQの占領政策と日本国憲法−
- 第一次世界大戦前後のセネガルにおけるフランス植民地統治

考古学研究室

江田 真毅 教授 *EDA Masaki*
■研究分野 動物考古学、考古鳥類学、文化財科学

高瀬 克範 教授 *TAKASE Katsunori*
■研究分野 考古学、植物考古学

小杉 康 特任教授 *KOSUGI Yasushi*
■研究分野 考古学、物質文化論、民俗誌考古学

國木田 大 准教授 *KUNIKITA Dai*
■研究分野 考古学、文化財科学

髙倉 純 助教 *TAKAKURA Jun*
■研究分野 考古学、文化財科学

中澤 祐一 助教 *NAKAZAWA Yuichi*
■研究分野 考古学、人類進化史

【卒業論文テーマ例】
- 縄文の丸木舟
- 岩手県宮野貝塚出土石器の使用痕分析
- 九州地方における縄文時代のイチイガシ種実利用の研究
- 札幌市N434遺跡出土の炭化種子の研究
- 礼文華遺跡出土恵山3式土器の技術論的研究
- 縄文文化における貝刃について

文化人類学研究室

小田 博志 教授 *ODA Hiroshi*
■研究分野 人類学、平和研究、自然−人間関係、生命論、エスノグラフィー論

コーカー ケイトリン クリスティーン 准教授 *COKER Caitlin Christine*
■研究分野 人類学、身体化論、パフォーマンス研究、情動論

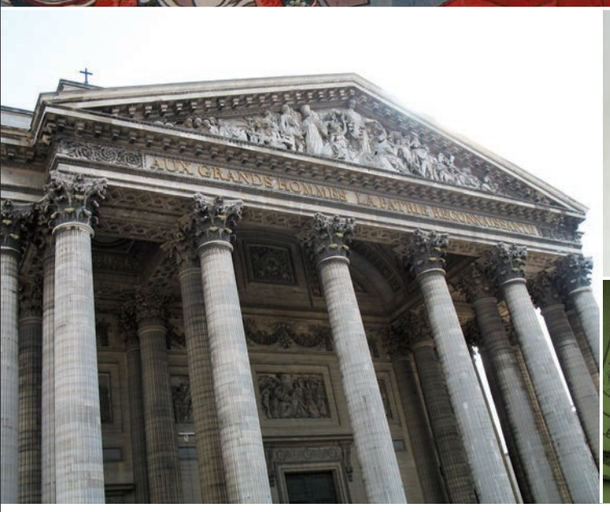
山口 未花子 准教授 *YAMAGUCHI Mikako*
■研究分野 人類学、自然誌、動物論、狩猟研究、北米先住民研究

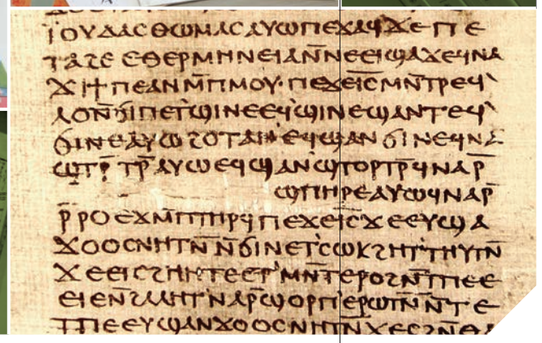
田中 佑実 助教 *TANAKA Yumi*
■研究分野 人類学、樹木と人、芸術、北欧先住民研究

【卒業論文テーマ例】
- 北の宿り木−Bar&Cafe LANP における相互行為−
- 月経のエスノグラフィー −人々はなぜためらうのか−
- 現代短歌の人類学
- 「のき」がひらくもうひとつの共同性 −上田市の市民活動にみる相互扶助とアナーキズム−
- プライドパレードをつくる人のエスノグラフィー −さっぽろレインボープライド実行委員会を事例に−
- 国策の下で「対話する」ということ −高レベル放射性廃棄物の最終処分場建設に関わる地域の営みから−

言語・文学コース

Linguistics and Literature





教員から

本を開くことは世界への扉を開くこと
——異文化に触れる喜び

映像・現代文化論研究室　小川 佐和子 准教授

小説や舞台、映画、アニメ、漫画を読んで、見て、感動したり、あるいはシラけたりしたとき、その心の触感を掘り下げていくのが本コースです。母語と外国語の仕組み、日常会話から時空間の越境まで、作品や言語を通じて人々のささやかな営みと世界や文化といった大きな枠組みを同時に視野に入れて探求していきます。作品分析とその背景知識、諸言語と思想・文化を専門的に学んで価値観を相対化し、好きな作品や苦手だけれど気になる作品の大海に、一緒にもぐってみませんか。うまく泳ぐのも、地上から眺めるのも、ときには溺れても、世界を知るための大切な体験となるでしょう。

パラジャーノフの映画の舞台を訪ねてアルメニアの山奥へ

ことばを通して人間を理解する

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。言語・文学コースでは、ことばの歴史と仕組みを時代（古典から現代まで）・地域（日本・中国・西洋）で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を各種メディア（言語・映像・情報）で分析する授業が展開されます。

欧米文学研究室

英語圏文学・フランス文学・ロシア及びスラブ文学・西洋古典文学を読みながら、語学だけでなく広く文化表象を読み解くリテラシーを高めます。

日本古典文化論研究室

上代・中古・中世・近世の文学および文化を対象とし、多様な視点から理解をめざします。

中国文化論研究室

中国の思想、言語、文学などをはじめ、中国および漢字文化圏に関する幅広いテーマを学習・研究することができます。

映像・現代文化論研究室

日本の近代・現代の文学全般、日本および世界の映画を中心として、広く現代の映像・表象・思想を理論的・具体的に追究します。

言語科学研究室

言語の科学としての言語学の方法論で、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、朝鮮語、アイヌ語などを深く学びます。

先輩から

「表現」を学び、現代社会を生きる手がかりに

言語・文学コース 3年生　山田 美博 さん

（2023年5月取材時に撮影）

幼い頃から本、映像、音楽…と「表現」全般に興味を持っていました。あるべき姿が常に求められる社会にどこか窮屈さを感じながら生きていた私にとって、ありのままに自分を表現した作品に触れることは、自身を解放し、自由にしてくれる翼のようでした。言語・文学コースに進学し、例えばずっと好きだった王家衛（ウォン・カーウァイ）監督作品で描かれる空虚な切なさを帯びた恋などこれまで何となく美しいと感じていたものに、一つ一つ意味を見いだせるようになったことが、一番楽しいと感じるところです。

今は、女性に対する社会のまなざしがどのように形成されてきたかを、近現代の文学・映像作品を中心にジェンダー論・フェミニズムの観点から読み解いています。言語や文学を学ぶことは、かつての人々がどのような文化・社会・思想の中に生きたのかを知り、現代の私達がどう生きていくべきかを考える大きな手がかりとなります。これからあなたが学ぶことは、必ずあなたの人生の指標になってくれるはず。私も学んだことを社会の中で実践し、還元する。誰も傷つけずに、いいものを創る。将来どんな仕事に就いても、ここは譲らずに貫きたいです。

コースの授業例　ことばの歴史と仕組みに向き合いながら探求したい文学研究を盛り込む事も可能。

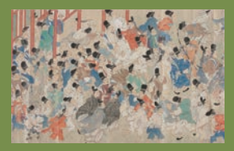
	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	中国思想史概説 中国思想史の多角的研究	国語学概論 日本語の時代的変遷	言語学概論 言語学の基礎	西洋文学 古代ラテン語文法	日本文学 『古今著聞集』を読む
3	国語学 日本語文法論	西洋言語学演習 ロマンス語学研究の発展	日本文学演習 上代文学研究	映像表象文化論 映画史	英米文学 英米の短編小説
4	日本文学史概説 日本探偵小説史	西洋文学概論 モニュメントとフランス文学	中国語学概論 中国文学探検行	日本思想 戦争の記憶	
5			英語学概論 英語の構造と意味		

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。

▲ 緊張感あふれる演習でフランス語の読解力が向上。［西洋言語学演習］

▲ ギリシア語・ラテン語を習得すると、何を学ぶにも深みが増す。［西洋文学］

▲ 映画と芸術の交流について、映画史のさまざまな観点から横断的に理解を深める。［映像表象文化論］



▲ 日本中世の文学的・文化的な営為や表現方法を、説話文学『古今著聞集』を読むことを通じて理解する。［日本文学］（画像：国文学研究資料館所蔵）

研究室・教員・卒業論文テーマ

欧米文学研究室

瀬名波 栄潤 教授 *SENAHA Eijun*
■研究分野 英米文学、英語圏文学、ジェンダー・セクシュアリティ研究

竹内 修一 教授 *TAKEUCHI Shuichi*
■研究分野 フランス現代文学

竹内 康浩 教授 *TAKEUCHI Yasuhiro*
■研究分野 アメリカ文学

戸田 聡 教授 *TODA Satoshi*
■研究分野
古典文献学（特に古代ギリシア語文献学）、古代キリスト教史

小椋 彩 准教授 *OGURA Hikaru*
■研究分野
ロシア文学、ポーランド文学、比較文学

宮下 弥生 助教 *MIYASHITA Yayoi*
■研究分野
Shakespeare劇、物語理論、中世英語英文学

【卒業論文テーマ例】
- To Die while Alive: The Possibility of Salvation in Edgar Allan Poe's *"The Premature Burial"*（生きながら死ぬこと―エドガー・アラン・ポー「早まった埋葬」における救いの可能性）
- アルベール・カミュ『異邦人』と『幸福な死』の主人公比較
- *Walden* as the Philosophical Bible of Life（生の哲学書としての『ウォールデン』）
- 虚構としての戦争とその語り-ロシアの戦争短編小説から考える-
- リング・ラードナーの皮肉
- Ghosts and Sounds in Carson McCuller's *The Member of the Wedding*（カーソン・マッカラーズ「結婚式のメンバー」における幽霊と音）
- "Nothing stands still, except in our memory": Saving Shelter in Philippa Pearce's *Tom's Midnight Garden*（「思い出だけは変わらない」―フィリパ・ピアス作『トムの真夜中の庭』における居場所の継承）
- Illusive Hope: Symbolism of Mutability in the World of Kazuo Ishiguro（希望という幻影:カズオ・イシグロの世界における無常の象徴表現）

日本古典文化論研究室

金沢 英之 教授 *KANAZAWA Hideyuki*
■研究分野 上代文学

野本 東生 准教授 *NOMOTO Tosei*
■研究分野 中世説話文学

南 陽子 准教授 *MINAMI Yoko*
■研究分野 近世文学

【卒業論文テーマ例】
- 『浮世床』考
- 『土佐日記』研究
- 上代文学における蛇譚
- 中世文学における怪異譚-『今昔物語集』巻二十七第三十一話を中心に-

中国文化論研究室

近藤 浩之 教授 *KONDO Hiroyuki*
■研究分野 中国古代思想、易学思想史

田村 容子 教授 *TAMURA Yoko*
■研究分野 中国演劇、中国文学

弗 和順 教授 *YUHAZU Kazuyori*
■研究分野 中国古代学術思想

【卒業論文テーマ例】
- 『論語と算盤』における『論語』解釈-原義と現代的意義
- パンダを考える
- 『元秘抄』にみる菅原氏の生存戦略
- 革命現代京劇『海港』論
- 『金瓶梅詞話』における女性と飲酒
- 『墨子』における鬼神について

映像・現代文化論研究室

応 雄 教授 *YING Xiong*
■研究分野 映像表象論

押野 武志 教授 *OSHINO Takeshi*
■研究分野 日本近代文学、表象文化論

水溜 真由美 教授 *MIZUTAMARI Mayumi*
■研究分野 日本近現代思想史、ジェンダー研究

小川 佐和子 准教授 *OGAWA Sawako*
■研究分野 映画史、音楽劇研究

【卒業論文テーマ例】
- 教師と生徒の恋愛ドラマ論 -野島伸司『高校教師』と遊川和彦『魔女の条件』を中心として-
- 第一次世界大戦を題材にした英国戦争記録映画-観客の需要と制作意図について-
- ジェンダフリーバッシングと性教育
- 漫画作品における映画的表現について
- 宮澤賢治『春と修羅』論-テクストの二重性-
- ジム・ジャームッシュ映画研究
- 綾辻行人研究
- 芥川龍之介論-語りと視覚的効果

言語科学研究室

李 連珠 教授 *LEE Yeonju*
■研究分野
韓国語学、言語学、日本語学、音声学

加藤 重広 教授 *KATO Shigehiro*
■研究分野
言語学、日本語学、語用論

佐藤 知己 教授 *SATO Tomomi*
■研究分野
言語学、アイヌ語、北方言語

野村 益寛 教授 *NOMURA Masuhiro*
■研究分野
英語学、認知言語学、意味論

藤田 健 教授 *FUJITA Takeshi*
■研究分野
フランス語学、ロマンス語学、統語論

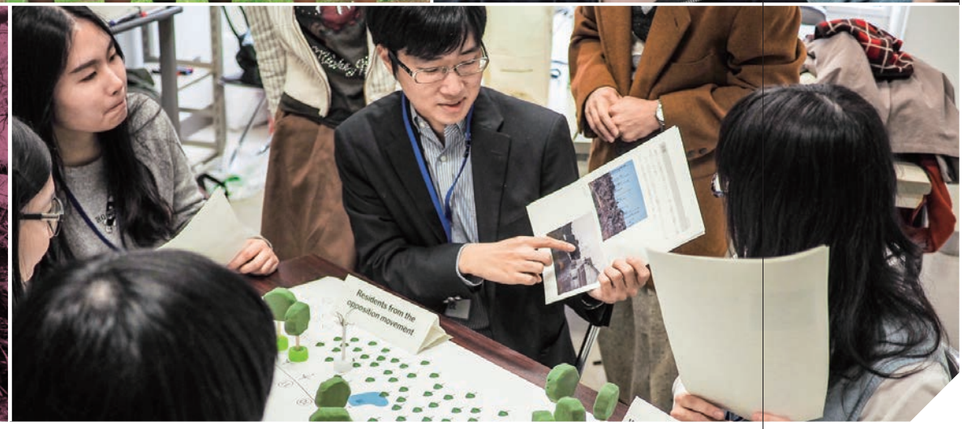
菅井 健太 准教授 *SUGAI Kenta*
■研究分野
ロシア語学、スラブ語学

蔦 清行 准教授 *TSUTA Kiyoyuki*
■研究分野
国語学、文献学、歴史言語学

【卒業論文テーマ例】
- 日本語の断り場面における談話表現研究
- A Linguistic Analysis of American Net Slang（英語ネットスラングの言語学的分析）
- 現代日本語における類義形容詞の研究
- 北海道千歳方言のアクセントについて
- 大津方言外来語アクセント
- 岡山方言における固有名詞のアクセント
- ツッコミ型表現の語用論的考察-「～か」を中心に
- 日本語とフランス語における読み上げ音声の対照研究
- 日英語における移動行為の場所格標示について
- ラテン語の奪格名詞句とスペイン語の対応表現の対照分析
- ロシア語における活動体・不活動体の例外について -рыжикについての分析-
- 男女を形容する言葉についての考察
- 慣用表現に見る「手」概念の日露対照分析
- Inter-lingual Differences in Sound-symbolic Effects in Pokémon Names and the Influence of Word-initial Consonants（ポケモンの名前における音象徴効果の言語間の差異と語頭子音の影響）

人間科学コース

Human Sciences



教員から

実証的な手法に基づいた深い人間理解と社会認識を

地域科学研究室　宮内 泰介 教授

私たち自身、そして私たちをとりまく社会、さらには人間以外の環境、そうしたものの「しくみ」を学ぶのが人間科学コースです。このコースでは、社会心理学、心理学、認知科学、社会学、地理学、社会生態学など、人と社会の関係に関する実証的な研究の最先端を学べます。実験、調査、フィールドワークなど多様な調査手法のもとで、人間の心理や行動について、人間の心理と社会の関係について、さらには、社会と環境との関係について、広く深く学ぶことができます。実証的な手法に基づいた深い人間理解と社会認識は、現実社会のさまざまな問題の解決にも役立つものです。一緒に学んでみませんか。

人間の行動や社会のしくみを解き明かす

人間の行動や社会のしくみを、収集したデータの分析に基づき、
実証的視点から理解することを目的としています。
心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などに
関連する多彩な科目が用意されているほか、
実験、調査、研究方法などは必修となっており、
社会と心の実態に迫るための手法を身につけます。

心理学研究室

実験・調査によって収集したデータの分析に基づいて、人間の行動や、それを司る脳機能の仕組みを実証的視点から学びます。

行動科学研究室

社会心理学・進化心理学・文化心理学・行動経済学・神経科学・比較認知科学などを通じて、人や動物の心と社会との関わりを学びます。

社会学研究室

社会の仕組みとその変化を、個人との関係から読み解いていくのが社会学で、その方法（聞き取りや大規模調査など）も学びます。

地域科学研究室

地域社会学・人文地理学・社会生態学の三分野をベースに、フィールドワークを中心として、地域の多様な問題への学問的アプローチについて学びます。

先輩から

自分を、他者を、そして人間を知りたいあなたへ

人間科学コース 4年生　白鳥 茉衣 さん

（2022年5月取材時に撮影）

人間科学コースでは「人間」と「社会」をテーマに、実験や調査で得られたデータを分析し、その仕組みを研究していきます。私は「自己を理解したい」という思いから、心理学研究室を選びました。自身の感情を見つめ直してみると複雑でわからない部分が多くありますが、そうした人間の心の不思議さはとても魅力的だと思います。現在、私は音楽心理学を専攻しており、特に音楽による感動に興味を持っています。何かに心を動かされるという経験は誰しも持っていると思いますが、音楽を聴いたときの感動はその後の人生をも変える力を持っていると感じています。音楽心理学は、「音楽」を「学問」という観点から捉えられる奥の深い研究領域です。

今後は大学院に進学し、音楽に関わっていきたいと考えています。常に新鮮な目線で世界を見つめ、楽しみながら研究を続けていけるような自分を目指しています。大学での学びは何より楽しく、今興味を持って取り組んでいることはどれも今後に繋がっていくはずです。自分を、他者を知りたい、そして人間という存在を知りたい方は、ぜひ人間科学コースでその関心を追いかけてみてください。

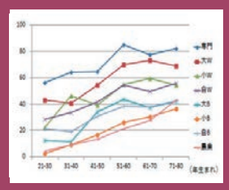
コースの授業例　実験や調査、データ解析を通じて課題を解明。文献読解やプレゼンでコミュニケーション力もUP。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	行動科学実験実習 行動科学のための基礎実験 「心理学実験実習」・「社会調査法実習」・「野外調査法実習」のように、各専門分野で実習がある。（必ずしも4コマ続きとは限らない）	心理学概論 心理学の基礎知識	心理学研究法 実験デザイン基礎から応用	社会学演習 ウェルビーイングと社会問題	比較地域社会学 自然とコモンズの社会学
3		認知科学 進化した心、進化する文化	地域科学演習 空間情報と地理学	認知心理学 感覚と知覚	社会生態学 保全生態学概論
4		行動計量学 重回帰分析	社会学研究法 質的調査法	社会構造論 教育と階層の社会学	
5					

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。

▲ 行動科学関連諸分野の主要な研究テーマと研究方法の概要を学ぶ。［行動科学実験実習］

▲ 目や耳などの感覚器官を通じて得られる情報が知覚になるまでの仕組みについて学ぶ。［認知心理学］



▲ 格差社会の実態をデータに基づいて考える。［社会構造論］

▲ 人の自然との関係を通してこれからの社会のあり方を考える。［比較地域社会学］

研究室・教員・卒業論文テーマ

心理学研究室

安達 真由美 教授 *ADACHI Mayumi*
■研究分野　音楽心理学（聴取、演奏、感情、発達）

河原 純一郎 教授 *KAWAHARA Jun-ichiro*
■研究分野　認知行動科学（注意、記憶、魅力、顔、産業応用）

川端 康弘 教授 *KAWABATA Yasuhiro*
■研究分野　認知心理学（色覚、感性、知識、熟達）

小川 健二 准教授 *OGAWA Kenji*
■研究分野　認知神経科学（特に運動学習や社会認知）

金子 沙永 准教授 *KANEKO Sae*
■研究分野　知覚心理学（特に視覚、錯視）

鶴見 周摩 助教 *TSURUMI Shuma*
■研究分野　認知・発達心理学（乳児の知覚・認知）

森本 琢 助教 *MORIMOTO Taku*
■研究分野　認知心理学（クロスモダルな情報処理過程、記憶、心的イメージ）

【卒業論文テーマ例】
- 社会的相互交渉場面におけるヒト型自閉症モデルマウスの超音波コミュニケーション−非接触型レジデント−イントルーダー課題を用いた研究−
- 母仔分離場面におけるヒト型自閉症モデルマウスの超音波発声 −クロモドメインヘリカーゼDNA結合タンパク質8欠損マウスと7番染色体6.3Mb重複マウスの研究−
- 視覚情報に与えるBGM効果の対称性:ニュートラルな映像と賛否両論のテキストメッセージの場合
- 機能的核磁気共鳴画像法を用いた情動伝染の個人特性とミラーニューロンシステムの関連性についての検討
- 味から想起される色イメージについて
- BGMの歌詞が持つ物語性が課題遂行に及ぼす影響
- パーソナルカラーと個人の色嗜好性との関連
- 過敏性腸症候群に関連する単語への注意バイアス
- 鏡注視課題による自分への注意操作がボディイメージに及ぼす効果
- 内受容感覚のメタ認知能力と不安感情の関連性についての検討

行動科学研究室

大沼 進 教授 *OHNUMA Susumu*
■研究分野
環境社会心理学、リスクガバナンス

髙橋 伸幸 教授 *TAKAHASHI Nobuyuki*
■研究分野
社会心理学、実験社会科学

竹澤 正哲 教授 *TAKEZAWA Masanori*
■研究分野
社会心理学、適応的意思決定、文化進化論

結城 雅樹 教授 *YUKI Masaki*
■研究分野
社会心理学、文化心理学、社会生態心理学

高橋 泰城 准教授 *TAKAHASHI Taiki*
■研究分野　行動科学、神経経済学

瀧本 彩加 准教授 *TAKIMOTO Ayaka*
■研究分野　比較認知科学

中島 晃 助教 *NAKAJIMA Akira*
■研究分野　応用統計学

【卒業論文テーマ例】
- 斜行伝達の適応進化:遺伝子と文化の共進化理論に基づく検討
- 反撃・我慢・ゴシップ−攻撃的な他者への対応の日米比較研究−
- 根本的帰属の錯誤の合理性:ベイズ計算論モデルによる検討
- 道徳的宗教の文化進化と協力の発生:数理モデルによる検討
- 「適応心理」は適応的か?−幸福度の規定因の国際比較−
- 機械学習を用いた討議の質評価指標の自動判定
- 高所得者ほど非倫理的行動をするのか? −違法駐車に関するフィールド調査−
- 隣接関係に基づくクラスター分析 −クラスター数決定に関する考察−
- ステータス動機は日本人の環境配慮型消費に影響を及ぼすか−実験的検討
- 河川沿いにおけるポイ捨て防止社会実験:介入効果の長期的測定
- 一般的信頼と機会コストが自集団から出るタイミングに及ぼす効果の検討
- 飼育下のシンリンオオカミの行動に影響を及ぼす要因の探索的検討−札幌市円山動物園で単独で暮らす高齢個体を対象に−

社会学研究室

櫻井 義秀 教授 *SAKURAI Yoshihide*
■研究分野　宗教・文化社会学、タイ地域研究、東アジア宗教研究、ウェルビーイング研究

平澤 和司 教授 *HIRASAWA Kazushi*
■研究分野
社会学（特に教育、家族、社会階層）

伍 嘉誠 准教授 *NG Ka Shing*
■研究分野　ナショナリズム研究、社会運動論、宗教・文化社会学、東アジア研究

樋口 麻里 准教授 *HIGUCHI Mari*
■研究分野　社会的排除論、福祉・医療社会学、ジェンダー論、家族社会学、国際比較

平松 誠 講師 *HIRAMATSU Makoto*
■研究分野
社会学（特に都市、地域、社会階層）

清水 香基 助教 *SHIMIZU Koki*
■研究分野　宗教社会学、主観的ウェルビーイング研究、価値意識の研究

【卒業論文テーマ例】
- 「非当事者」はどのように運動への参加を決定するのか −札幌におけるミャンマーの民主化を求める活動に着目して
- 少子化対策としての家庭内育児支援ロボットの可能性と母親の認識・期待 −子ども数と周囲からのサポートの違いに注目して−
- 運動部における女性同士のつながり −GTAを用いた分析から女性のホモソーシャリティを探る−
- 発達障害かつ不登校児童と支援の壁〜親子と社会の関係性に着目して〜
- 大学の専攻分野選択メカニズムのジェンダー差−母親の期待に着目して−
- ツイートにおける「ネトウヨ」の語られ方について−KH Coderによる分析−
- 高齢女性における象徴資本としての和服所有
- 全共闘運動はいかなるメディア・フレームを用いて報じられたか −KH Coderによるテキストマイニングを利用して−

地域科学研究室

笹岡 正俊 教授 *SASAOKA Masatoshi*
■研究分野　環境社会学、ポリティカル・エコロジー論、インドネシア地域研究

橋本 雄一 教授 *HASHIMOTO Yuichi*
■研究分野　都市地理学、地理情報科学（GIS）

宮内 泰介 教授 *MIYAUCHI Taisuke*
■研究分野　環境社会学、地域社会学、開発社会学

髙橋 昂輝 准教授 *TAKAHASHI Koki*
■研究分野
社会地理学、都市研究、北米地域研究、島嶼研究

林 琢也 准教授 *HAYASHI Takuya*
■研究分野　農村地理学、経済地理学、観光学、地域づくり論

立澤 史郎 特任助教 *TATSUZAWA Shirow*
■研究分野
保全生態学、環境教育論、シベリア地域研究

【卒業論文テーマ例】
- 景観項目に着目した洋上風力発電事業導入の課題と展望〜北海道石狩湾における事例より〜
- ホームレスに対する支援のあり方に関する研究〜書店を併設したシェルターの入居者の語りから〜
- 近隣住民による危険空き家解体除去手法の有効性と課題 −室蘭市・米沢市を事例に−
- コールセンター労働に関する社会学的研究−非正規労働者の視点から−
- 観光ガイドブックは「影」をいかに描くのか−「るるぶ広島」「るるぶ長崎」シリーズを事例に−
- 札幌市における災害発生時の外国人観光客支援
- 買い物弱者支援を目的とした公設民営スーパーの成立要因 −北海道滝上町・西興部村を事例として
- 市民による里山保全活動の持続性についての研究 −北海道栗山町ハサンベツ地区を事例として−
- ネコの多頭飼育事例から考えるペット飼育のあり方
- 富山市における土地利用変化とコンパクトシティ政策

卒業論文

4年間の学びの集大成

卒業論文への取り組み

他の卒業生の卒業論文への取り組みはウェブサイトでお読みください。

case 01

卒論テーマ

確証のパラドクスの批判的分析

哲学・文化学コース
（令和3年度卒業）
室井 沙月 さん
（むろい さつき）

［テーマを決める］

私の卒論では、ある科学的な命題とその対偶（同値になるはずの命題）の確からしさが一致しない場合に生じるパラドクス（確証のパラドクス）について、「すべてのカラスは黒い」という例を用いて、このパラドクスをできるだけうまく解消するまでの道筋を示すことを目指しました。科学的な推論に関する問いを論理学の手法で検討するため、科学哲学と論理学の中間に位置するテーマ設定にも惹かれました。

［情報を集める］

3年生の9月から授業とは別に、指導教員の佐野勝彦先生と定期的に科学哲学の基本的な教科書を英語で読み、同時に先行研究の行間を埋めてさらに深く理解するための方法を学びました。5月初頭に内部進学者向けの大学院特別入試を受けた後は、この研究分野の最も基本となる論文を11月までかけて佐野先生との面談を活用して証明の穴埋めをしつつ全訳して、卒論の執筆に取りかかりました。証明が必要な部分を洗い出す方法や言い換え・要約の仕方について佐野先生から丁寧に指導していただき、修士以降の研究に活かせるような構想の立て方なども大変参考になりました。

［書き上げる］

議論の本筋に肝要な部分だけを取捨選択し、自分の言葉で構成するというのはかなり難しかったです。先行研究の読解が思うように進まず、肝心の卒論を推敲する時間が限られてしまいましたが、自分なりのゴールには近づけたと思います。卒論には論文の推敲だけでなく進行状況や時間管理をも推敲する能力が求められます。書き上げていく過程で、今後大学院で研究を進めていくための基礎体力がつきました。

指導教員からの評価

哲学倫理学研究室
佐野 勝彦 准教授

卒業論文執筆には知的好奇心に加えて先行研究をフェアな仕方で噛み砕く知的な基礎体力も不可欠です。地道な作業で英語文献を読み解いた力作です。

4年次のスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒論指導教員の決定		教育実習 教員免許を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。	博物館実習 学芸員資格を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。		大学院入試（前期）	**卒論題目届を提出** 指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。論文作成もいよいよ追い込みへ。		**卒論提出**	**卒論口述試験** 試験の内容はコース・研究室で異なる。	大学院入試（後期）	**卒業決定者発表・学位記授与式・卒業祝賀会** 学位「学士（文学）」を授与。

case 02

卒論テーマ

An Analysis of Adversative Usage of English Preposition ON
（英語前置詞 on の迷惑・不利益を表す用法に関する分析）

言語・文学コース
（令和元年度卒業）
松村 大寿 さん
（まつむら だいじゅ）

［テーマを決める］

きっかけは、日本語の「雨に降られた」を英語では“It rained on me”と表すという記述を見つけたことです。同じ事態を日本語では「降られた」という受身、英語では前置詞onという全く異なった形式で表していることに強く興味を引かれ、先行研究があまり進んでないことが判明したので、自分で「前置詞onの迷惑用法」について明らかにしたいという気持ちに駆られました。

［情報を集める］

6月から9月末までは先行研究の収集・分析を行い、仮説を立てる助走期間。10～11月には用例の収集と英語のネイティブスピーカーを対象としたアンケート調査を行い、11～12月で一気に執筆作業を進めました。先行研究の論文にonがもともと「接触」の意味を持つところからいくつかの意味を経て「迷惑」の意味が生じると指摘するものを見つけましたが、その複雑な経緯かつ思弁的な説明に苦慮していたところ、指導教員の野村先生から「それぞれの意味の発生年代を調べてみたら?」というアドバイスをいただいたことで客観的な証拠付けができました。

［書き上げる］

論文執筆というと自分一人で進めるイメージがありましたが、実際には学生同士の意見交換や先生方への相談が頻繁に行われ、それらが論文の完成度を高めることがよくわかりました。英語学の卒業論文は英語で書くのが慣例となっているため、執筆は想像を超えた大変さでしたが、その分完成した時の喜びはひとしお。見返してみると理由付けやアンケート調査の分析に改善すべき点があり、さらに扱えきれなかった話題もあるので、今後の研究のモチベーションとなりました。

指導教員からの評価

言語科学研究室
野村 益寛 教授

卒論の成功のカギはテーマ選びにあり。そのためには日頃から「なぜだろう?」とアンテナを広く張ること。この点でこの卒論は最初から成功が約束がされていました。

異文化のレンズを通して日本を相対化する
実践的な外国語力を身につけ、世界という舞台へ

北海道大学の交換留学制度
―文学部独自の制度も充実―

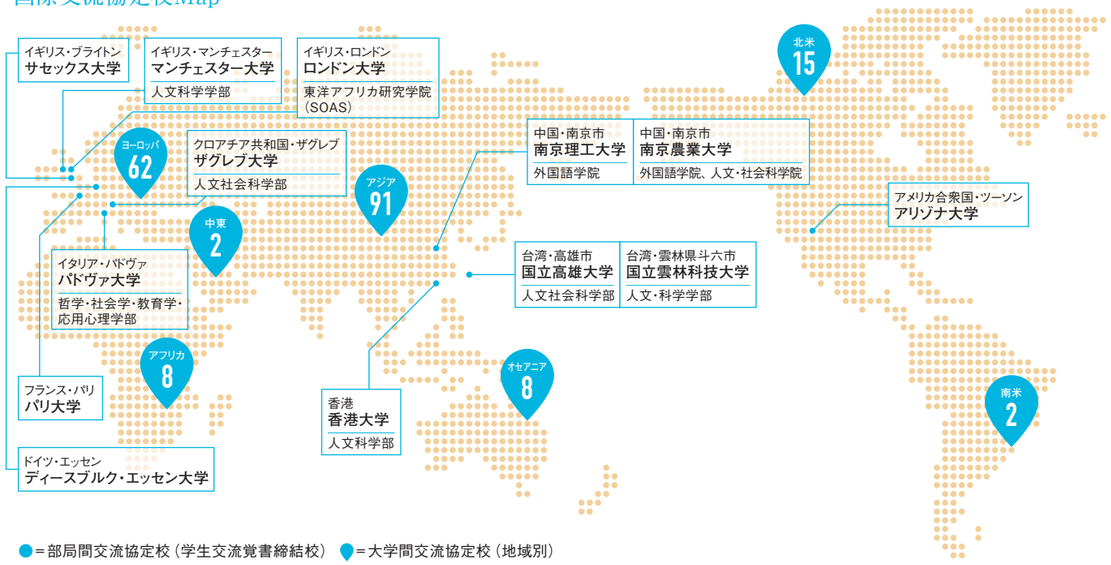
北海道大学では、海外の51ヵ国・地域の201機関と197の大学間交流協定を結んでいます（2023年3月現在）。このうち、188大学と「大学間」の学生交流覚書を、また、それとは別に「部局間」の学生交流覚書も締結しています。学生はこれらの協定大学に1学期間あるいは1年間「交換留学」することができます。大学間の場合は、北海道大学の学生全員が対象ですが、部局間の場合は、協定を結んでいる部局の学生が対象となります。文学部では、現在24大学等と部局間交流協定を締結しており、このうち13大学と学生交流覚書を取り交わしています。これらの13大学に対しては文学部独自の交換留学制度があります。

交換留学のメリットいろいろ
― 授業料不徴収、単位認定、生活相談も ―

北海道大学は海外の協定大学との間に「授業料不徴収」の取り決めを結んでいます。「授業料不徴収」とは、北海道大学に授業料を納めれば留学先の大学に授業料を払わなくてすむという制度で、北大よりも高い学費の大学へ留学したい場合は非常に有効です。交換留学であれば、留学先の大学の専門科目を履修することができ、そこで修得した単位が文学部の審査によって帰国後に認定される場合があります。

また大学間交流協定校への交換留学の場合、出願手続きを学務部国際交流課がサポートし、出発前に交換留学生を対象としたオリエンテーションも実施します。留学中もメール等で授業や生活等に関する相談に応じるとともに危機管理に関する情報も提供しています。文学部の部局間交流協定校への留学は、文学部独自の支援が受けられます。一人一人の状況に応じたきめ細やかなフォローで、事前準備から留学中の相談にも対応しています。

国際交流協定校Map



●＝部局間交流協定校（学生交流覚書締結校）　●＝大学間交流協定校（地域別）

文学部が提案・関係部局となっている大学間交流協定校

アバディーン大学 / アラスカ大学フェアバンクス校 / イルクーツク国立大学 / ウィスコンシン大学マディソン校 / ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 / オウル大学
オクラホマ大学 / オークランド大学 / ケルン大学 / サハリン国立大学 / ジュネーブ大学 / ソウル市立大学校 / タルトゥー大学 / デラサル大学
ノヴォシビルスク国立大学 / ハワイ大学マノア校 / バイロイト大学 / ブカレスト大学 / 北京大学 / 北京師範大学 / ベオグラード大学 / ヘルシンキ大学
北東連邦大学 / 香港中文大学 / マヒドーン大学 / ミラノ・ビコッカ大学 / ワルシャワ大学

［50音順］

北大文学部から世界へ
世界から北大文学部へ

あなたの隣にも留学生が
国際色豊かな北大キャンパス

北海道大学には世界各国から集まった大勢の外国人留学生が学んでいます。留学生との交流プログラムも豊富に用意されており、さまざまな体験を通して国や人種、ことばや文化、宗教などの壁を越えた友情を育むことができます。

文学部や大学院文学院に在籍する各国の留学生たち（17ヵ国・217名、令和5年5月現在）も、皆さんの大学時代を彩る大切な仲間たち。緑のキャンパスにいながらにして国際交流や異文化コミュニケーションが始まります。

部局間交流協定校

サセックス大学（イギリス）

社会学研究室 留学年次4年
中山 芽衣（なかやま めい）さん

国際的な視座や多様性を育むイギリス留学

国家間の不平等や貧困問題に関心があり、世界1位と評される開発学と、私の専門の社会学が同時に学べるコースがあるサセックス大学を留学先に選びました。世界中から集まる多様な学生と議論することで、視野が広がりました。授業の予習は大変でしたが、楽しく、得難い経験になりました。

大学間交流協定校

国立台湾大学（中華民国）

社会学研究室 留学年次2年
荒 幹彦（あら もとひこ）さん

充実の留学生支援、快適な学生生活

ジェンダー分野に関心があり、アジアでは台湾大学がこの領域で先進的な研究を行っていたので、留学先としました。中国語が流暢でなくても英語の授業が受講可能です。チューター制度を始め、留学生向けのイベントや支援が充実していて、さまざまな経験を通して多くの友人と交流しました。

大学間交流協定校

オーフス大学（デンマーク）

文化人類学研究室 留学年次3年
上坂 海月（うえさか みつき）さん

現地のくらしをフィールドワーク!

照明やキャンドルを使って心地よい空間をつくるのが上手なデンマークのライフスタイルを体験し、フィールドワークしたいと思い留学しました。デンマーク人の友人の実家に招待され、素敵な空間を味わったり、現地の人と交流したりして、大学の授業とともに充実したフィールドワークを堪能しています。

海外からの留学生

上海外国語大学（中華人民共和国）

言語科学研究室 文学院博士後期課程1年
張 琴琴（ちょう きんきん）さん

数量詞の謎を解明するために北大へ

中国で日本語を学んでいた時、数量詞に疑問を持ちました。調べるうちに、加藤重広先生の研究に出会い、北大への留学を決意しました。最初は文学部研究生として入学、コロナ禍で来日が遅れ海外から遠隔授業を受講しました。現在北大の豊かな環境を満喫しながら勉強し、博士号取得を目指して研究に取り組んでいます。

さらに詳しい留学体験記は『留学ガイドブック』または文学部ウェブサイトで読むことができます。

文学部で取得できる教員免許や資格
「なりたい自分」に向かって計画的に

進路の選択肢を増やす免許や資格
取得に必要な所定単位は要チェック!

文学部では、中高教員免許状の他、美術館・博物館・資料館などの学芸員資格、また、社会調査士、考古調査士の資格も取得できます。資格を持っていると、進路を決める際に選択肢が大きく増え、可能性の幅が広がります。免許・資格の取得には所定の単位の修得が必要です。カリキュラムを計画的に組み立て、単位の取りこぼしがないように気をつけましょう。

教える喜び・難しさを学ぶ

教育職員免許状

中学校・高等学校の教員になるには、教育職員免許状が必要です。この免許状を取得するために開設されているのが教職課程です。教職課程の履修を通して、教育の基礎理論の他、生徒への指導や相談方法など教員に必要な知識や技能を学んでいきます。このため、卒業に必要な単位より多くの単位を修得する必要があります。教育実習も必修です。

●**中学校教諭一種免許状**［国語、社会、外国語（英語）］
令和2年度～4年度の北大文学部生 取得数34件

●**高等学校教諭一種免許状**［国語、地理歴史、公民、外国語（英語）］
令和2年度～4年度の北大文学部生 取得数64件

博物館の企画運営の専門職

学芸員

学芸員とは、「博物館法」に定められた博物館（美術館、科学館、動植物園、水族館などを含む）に勤務する専門職員です。

主な仕事は、専門分野の調査・研究、資料の収集・整理・保管・展示、利用者へのアドバイス、地域住民に対する社会教育・生涯学習の指導・助言等。他に博物館の運営等の業務もあり、博物館全般の業務をこなします。

法令の定める「博物館に関する科目」を修得し、かつ学士の学位を有することで学芸員になるための資格が得られます。文学部では、学芸員資格取得のための説明会を毎年4月に実施しています。

●**学芸員**
令和2年度～4年度の北大文学部生 取得数51件
（大学院生24件・計75件）

情報化社会で注目度上昇中

社会調査士

社会調査士資格には、「社会調査士」と「専門社会調査士」の2種類があります。どちらも社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえる能力を有する〈調査の専門家〉のことです。

「社会調査士」の資格を活かし、社会の動きを読み解くエキスパートとして活躍する場は多彩です。調査会社をはじめシンクタンクやコンサルタント会社、官公庁、マスコミ、IT企業ほか多くの民間企業で、調査の実施、結果の分析、その後の施策の企画立案等に携わります。

文学部では、「社会調査士」資格取得のために必要な科目（社会調査協会・標準カリキュラムに準拠）を開講しています。「専門社会調査士」は大学院修士課程修了で取得することができます。

●**社会調査士**
令和2年度～4年度の北大文学部生 取得数19件

埋蔵文化財調査の専門家

考古調査士

北海道大学では令和２年度に新設。取得できる考古調査士資格には、学部卒業時に取得できる「２級考古調査士」と大学院修士課程もしくは博士後期課程修了時に取得できる「１級考古調査士」の２種類があります。どちらも文学部または文学院が開講している所定の授業科目の単位を修得し、考古調査士資格認定機構から認定されると取得できます。

埋蔵文化財調査と保存・活用に求められるさまざまな専門知識と技術を身につけ、国民共有の財産である文化財の保存と活用に携わります。行政機関や民間組織での活躍が期待されます。

●**2級考古調査士**
令和2年度～4年度の北大文学部生 取得数13件
（他学部生6件・計19件）

研究者マインドを今は教材研究に

勤務先 茨城県立古河第一高等学校
［地歴・公民科教諭］

海野 翔太郎（うみの しょうたろう）さん

文学部 歴史学・人類学コース（令和元年度卒業）
北海道大学大学院教育学院 教育学専攻 修士課程
（令和3年度修了）

高校の授業でイスラームの虜となり、北大文学部で歴史学を専攻しました。東洋史学研究室は先生や学生との距離感が非常に近く、ゼミや卒論ではどんなに小さなことでも丁寧にアドバイスをくださるなど、東洋史学ひいては歴史学を研究するには充分すぎる環境が整っています。ゼミのレジュメ作成や卒論執筆を通して「わかりやすく」「伝わる」ための書き方やプレゼンの方法を学ぶことができました。このことは教員となった現在、授業や校務分掌・学年の会議など多方面に渡って、いかんなく発揮できていると感じます。

近年、「教職はブラック」という言葉を耳にします。やりがいだけでは片付けられないことも否定できません。しかしそれでも、生徒と共に、ときには生徒から学ぶことで得られるものは自分の人間性を高めてくれる価値ある職業だと考えています。授業準備は教材「研究」というくらいですから、北大文学部で培える飽くなき「研究者マインド」を持って現場に来てくれることを心より願っています。

※本項は2023年6月現在のデータで構成しています。

自分の思考を伝える実践の場

撮影：成田写真事務所

勤務先 弘前れんが倉庫美術館 アシスタント・キュレーター
［学芸員］

佐々木 蓉子（ささき ようこ）さん

文学部 哲学・文化学コース（平成28年度卒業）
人文学専攻 博士後期課程在籍中

芸術学研究室のゼミは、作家や作品について自分の考えを時間をかけて言葉にし、先生や仲間からのフィードバックを受けとめ修正を繰り返す実践の場でした。学芸員の仕事もまた、自分の思考を言葉にして相手に伝える作業の積み重ねなので大きな糧になっていると感じます。道内外の美術館で勤務する先輩方との交流も多く、とても刺激を受けました。修士課程在学中は留学制度を利用し、ドイツで1年間過ごしました。悪戦苦闘して外国語と向き合った経験は、海外の作家とのコミュニケーションもときに求められる現在の仕事にもつながり、挑戦してよかったと感じています。

学芸員を目指す方は、大学での研究に真摯に取り組みつつ、例えば芸術を学ぶ場合は、色々な展覧会に足を運んで生の作品に触れ、アートの現場でのボランティアなどを経験したりして、大学の外の世界に積極的に関わって自分の興味関心を深めていく姿勢が大切だと思います。人との出会いから受けた刺激を大切にして、充実した大学生活を過ごしてください。

※本項は2023年6月現在のデータで構成しています。

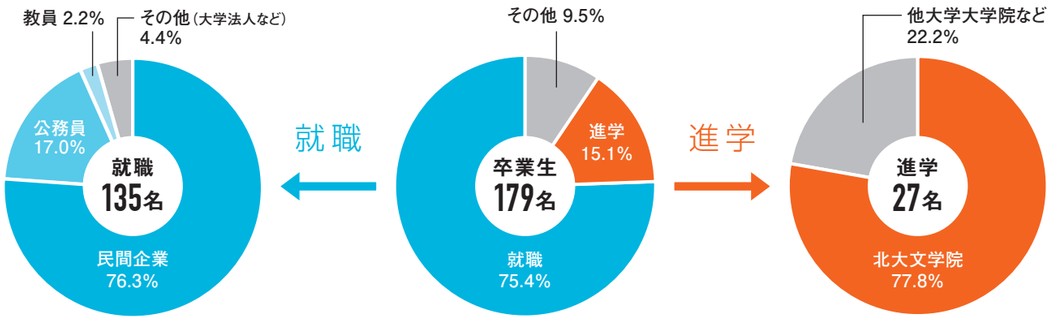
卒業後の進路・就職

文学部で培った「伝える力」を発揮
学びの豊かさを映す多彩な就職先

豊かな学びを吸収した北大文学部生の進路・就職先は、実に多彩です。研究対象を問わず「読む」「聞く」「書く」「説明する」ことに真摯に取り組む姿勢は、文学部生ならではの美点であり、卒業論文を書き上げる過程で「調べる」「分析する」「理解する」「人にわかりやすく伝える」といった、社会で必要とされるスキルもしっかり習得できます。

また、北海道の自然に囲まれ、さまざまな仲間と過ごすキャンパスは、大切な人間形成の場でもあります。コミュニケーションスキルも自ずと磨かれ、社会というステージでのびのびと活躍している先輩たちが大勢います。

進路・就職データ（令和4年度 / 卒業生179名）



約4分の3が就職、
うち民間企業が約8割、公務員が2割弱

大学院進学は約8割が北大文学院

学生の一歩先をやさしくサポート、進路・就職の説明会も随時開催

文学部では毎年、進路や就職選択のサポート活動として「履修コース説明会」「就職ガイダンス」「大学院進学説明会」などを行っています。また、文学部図書室に設置された就職資料コーナーでは豊富な資料が閲覧できるほか、学生用PC室では就職情報の検索など自由にPCが利用できます。

▲ 就職ガイダンス

▲ 大学院進学説明会　※令和2年以降はオンラインにて開催

社会で活躍！ 卒業生

事実を見定める歴史学の学びを保険業務に活用

勤務先 東京海上日動火災保険株式会社
北海道損害サービス部 旭川損害サービス課

平岡 華歩（ひらおか かほ）さん
文学部 歴史学・人類学コース（平成28年度卒業）

大学では思い切り好きなことを学ぼうと、小学生の頃から興味のあった歴史学が充実している北大へ。北大の日本史学研究室は時代ごとにゼミが分かれており、私は小倉真紀子先生のもと、「平安時代の伊勢斎宮」をテーマに取り組みました。数々の史料をもとに斎宮の選定例や背景を検証し、これまでの通説が正しいと言えるのか、自分なりの結論を導き出しました。

現在携わっている会社の業務も推測や憶測ではなく、正しく事実を認定し、法律や約款に基づいて適正に保険金をお支払いすることが重要です。大学時代に学んだ「なぜ」を大切にする姿勢や誰かの意見や考えに頼るだけでなく「気づき」のアンテナを張ること、根拠をもって自分なりに考えを持つことの重要性が、いま社会人になった私の「主体的に行動する」基本指針の土台となっています。

大好きな学問に真摯に向き合い、たくさんの友人と一緒に充実した学部生活を送った日々は、人生の大きな財産です。これから入学される皆さんも楽しく、素敵な学生生活を過ごせるよう心から応援しています。

お仕事紹介：目に見えない保険を形にしてお届け

形のない商品を扱うからこそ「人と人」の信頼関係に重きを置く金融業界に興味を抱き、きらきらと輝く先輩社員が多い当社に惹かれました。現在はお客様の自動車事故の対応を行う損害サービス業務に携わっています。目に見えない保険を形にしてお客様にお届けすることに非常にやりがいを感じています。

※本項は2020年6月現在のデータで構成しています。

人生や世界に対する視座を養う文学部

勤務先 北海道経済部経済企画局国際経済課

齊藤 遼（さいとう りょう）さん
文学部 歴史学・人類学コース（平成24年度卒業）

高校時代に体験授業で受けた東洋史学の吉開将人先生のゼミに魅了されて、北大文学部に進みました。入学してすぐに東洋史学の講義を一番前に座って受けたときの嬉しさは今も忘れられません。歴史学の他にも文化人類学や哲学、宗教学、心理学などさまざまな講義を受講しました。そこで養ったものは「人間ってこういうところがあるよな」とか「世界ってこういうふうになっているんだな」という自分なりの感覚です。仕事をしていると、日々課題にぶつかります。私の仕事は“人”との調整が主な仕事ですので、対応に客観的な答えがなく、自分の持つ情報や知識に基づき、都度、判断をする必要があります。その時に自分の考えを整理する軸として、自分なりの人間や世界に対する視座というものがあり、それは紛れもなく“人”に関する学問を修める文学部にいたからこそ養えたものだと感じています。

昨今は将来の就職を考えて文学部進学を迷う人も少なくないと思いますが、大学はまず学びの場であり、文学部はさまざまな“人”に関する知識が絡み合う面白い世界です。そこで得られるものは仕事を越えて、生きていく中で大切なあなたの軸になっていくと思います。

お仕事紹介：ODAを経て中国との経済交流を担当

自分の生まれ育った北海道をもっと元気にしたくて北海道庁を希望しました。入庁後、4年目から外務省に出向しベトナム、インドネシアなどへのODAを担当し、上海総領事館にも勤務しました。今は道庁に戻り、経済部国際経済課で中国との経済交流、主に道産品の中国への輸出拡大に向けた取組みを担当しています。

※本項は2021年6月現在のデータで構成しています。

卒業生の就職先（過去3年間の主な就職先）

公務員

外務省
会計検査院
九州農政局
経済産業省
経済産業省 東北経済産業局
経済産業省 北海道経済産業局
厚生労働省
公正取引委員会
国税庁札幌国税局
国土交通省
国土交通省 北海道開発局
財務省 函館税関
財務省 北海道財務局
水産庁北海道漁業調整事務所
総務省 北海道管区行政評価局
内閣官房
防衛省 北海道防衛局
法務省 矯正局
法務省 札幌出入国在留管理局
法務省 東京出入国在留管理局
北海道運輸局
北海道労働局
文部科学省

青森県庁
江別市役所
京都府庁
埼玉県警察
札幌市役所
島根県庁
伊達市役所
千葉県庁
東京都庁
富山県庁
長野県警察
奈良県庁
八王子市役所
北海道庁
宮城県庁
焼津市役所

教育・学習支援業

恵庭北高校
札幌市立上篠路中学校
札幌新陽高等学校
首里中学校
立花学園高校
帝塚山学院泉が丘中学高校
東京大学
東北大学
日本学生支援機構
北海道大学

ヴィリング
KDG看護予備校
秀英予備校
ブレーンバンク
練成会グループ

情報通信業

アイエンター
アイケイシステムズ
インフォテック
ウェブデザイナー
栄光
HBC北海道放送
エクサ
NHK出版
NTTコムウェア
NTTデータカスタマーサービス
NTTデータセキスイシステムズ
NTT東日本
EVERRISE
FM802
エル・ティー・エス
エレクトロニック・ライブラリー
Olivier
キットアライブ
共同通信社
クオリサイトテクノロジーズ
グランバレイ
KDDIエボルバ
コーエーテクモホールディングス
札幌ソフトハウス
CS-C
JSOL
JTBパブリッシング
システム・ケイ
SHIFT
集英社
尚文出版
スミセイ情報システム
セプテーニ・ホールディングス
ソフトウェア・サイエンス
ダイアモンドヘッド
中日新聞
TIS
デジタルデータソリューション
テレビ熊本
ナスカコンピュータ
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス
日本映画放送
日本電波ニュース社
日本放送協会
パワープランニング
バンダイナムコフィルムワークス
日立ソリューションズ
ビッグローブ
フィーリスト
富士通コネクテッドテクノロジーズ
フューチャーアーキテクト
北海道新聞社
北海道放送
マイベスト
メンバーズ
LINE
楽天グループ
リベロシステム

製造業

伊藤園
クリニコ
サントリーホールディングス
シャトレーゼ
よつ葉乳業

ぎょうせい
凸版印刷
光村図書出版

旭化成
出光興産
エーザイ
AGC
信越化学工業
富士フイルム
三井化学
ライオン

JFEスチール
JX金属
新日本電工
住友電気工業

住友重機械工業
ラッキーコーヒーマシン

エレコム
キオクシア
ニチコン
富士通

日本電気
プライムアースEVエナジー
ホシザキ

スズキ
トヨタ自動車

金融・保険業

あおぞら銀行
岡三アセットマネジメント
岐阜信用金庫
七十七銀行
住宅金融支援機構
商工組合中央金庫
大和証券
千葉銀行
日本政策金融公庫
八十二銀行
北洋銀行
北海道銀行
北國銀行
みずほフィナンシャルグループ
三菱JFJ銀行
三菱UFJ信託銀行
ゆうちょ銀行

AIG損害保険
かんぽ生命保険
住友生命保険
全国労働者共済生活協同組合連合会
東京海上日動火災保険
東京海上日動安心110番
日本生命保険
三井住友海上火災保険
明治安田生命保険

卸売業・小売業

内田洋行
興和江守
永浜クロス
日本たばこ産業
阪和興業
ホクレン商事
北海道酒類販売

コーセー化粧品販売
サンセリテ札幌
セコマ
ツルハ
DCM
トライアルカンパニー
ニトリ
ニトリホールディングス
日本調剤
長谷川産業
はなまる
丸井グループ
ユニクロ
ヨークベニマル
ローソン

運輸・郵便

イオングローバルSCM
SBSリコーロジスティクス
川崎汽船
京王電鉄
苫小牧埠頭
西日本高速道路
日本海事協会
日本郵便
東日本高速道路
東日本旅客鉄道
北海道旅客鉄道
郵船ロジスティクス
ロジネットジャパン

学術研究、専門・技術サービス業

アクセンチュア
朝日航洋
アビームコンサルティング
NECソリューションイノベータ
NTTデータエービック
NDPマーケティング
クレタ
Global Assist
国立民族学博物館
シグマクシス
テガラ
東芝インフラシステムズ
ニトリパブリック
日本経済広告社
農業・商品産業技術 総合研究機構
野村総合研究所
PwC京都監査法人
フーモア
ペイロール
北海道朝日航洋
吉岡経営センター
量子科学科術研究開発機構

建設業

一条工務店
岩田地崎建設
技研製作所
住友林業ホームテック
清家石材工業
大成建設
北海電気工事
前田建設工業

医療・福祉

札幌一時生活支援協議会
札幌市社会福祉協議会
社会保険診療報酬支払基金
スタートライン
生活科学運営
東京都福祉保健財団
日本年金機構
ベネッセスタイルケア
芳洋会
メディカル・ケア・サービス
LITALICO

不動産業、物品賃貸業

イオンモール
ウィル
カチタス
住商アーバン開発
中央日本土地建物
ファミリーコーポレーション
北海道鑑定
三井不動産商業マネジメント
武蔵コーポレーション
明和地所

電気・ガス・熱供給・水道業

JERA
静岡ガス
TOKAIホールディングス
東京電力ホールディングス
北陸ガス
北海道ガス
北海道電力
北海道電力ネットワーク
リニューアブル・ジャパン

農業・林業

京都造園

サービス業

あきんどスシロー
プリスリゾート

カプコン
近畿日本ツーリスト北海道
JTB
日本旅行北海道
ぴあ
広島東洋カープ
リクルートじゃらん北海道

アウトソーシングテクノロジー
エフプレイン
キャリコムグループ
グローアップ
中小企業基盤整備機構
日本国際協力センター
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン
マイナビ
マーキュリー

複合サービス業

馬路村地域づくり事業協同組合
生活協同組合コープさっぽろ

大学院進学

「さらに深く」専門研究に取り組む大学院
2専攻11講座20研究室で修士・博士の学位を取得

学部での学びをさらに掘り下げる 北海道大学大学院文学院

北海道大学は研究に重点を置く大学院大学でもあります。文学部の４年間で十分に解明できなかった研究テーマをさらに深く掘り下げたいという人は、ぜひその先の大学院へ。

北海道大学文学院は、国内きっての人文科学系研究拠点として多くの優れた研究者が輩出しています。修士課程を終えた大学院生の約４割は民間企業に就職あるいは公務員・教員になり、なかには民間企業の研究部門に職を得た人もいます。さらに研究を深めたいときは博士後期課程に進学という選択肢も。大学院生の旅費支援やオンライン開催学会参加費支援、校閲費支援など文学院独自の支援制度のほか、博士後期課程学生には「北海道大学アンビシャス博士人材フェローシップ」、「DX博士人材フェローシップ」という支援制度もあり、充実したサポート環境のもと、専門研究に没頭できます。

専門研究の基礎を習得、修士論文を執筆
［修士課程］

標準修業年限は２年間。大学院の授業を受講しながら、指導教員による個別指導を受け、修士論文を執筆します。研究会や学会での発表も重要な訓練の場です。

入試 北大文学部卒業予定者のみを対象とする特別入試のほか、一般と留学生を対象とする前期入試、一般・留学生・社会人を対象とする後期入試の年３回。文学部卒業予定者はいずれも受験できます（特別入試は受験資格に条件があります）。

専門研究を修めた証、博士学位の取得を目指して
［博士後期課程］

標準修業年限は３年間。自立した研究者・専門家を目指し、博士論文の完成を目指します。国内外の学会発表や論文投稿など、研究活動中心の生活を送ります。

入試 ９月の前期入試、２月の後期入試の年2回行われます。いずれも一般入試と社会人特別入試が実施されます。

専攻	講座	研究室	修士課程定員	博士後期課程定員
人文学	哲学宗教学	哲学倫理学、宗教学インド哲学	71名	28名
	歴史学	日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学		
	文化多様性論	文化人類学、芸術学、博物館学		
	表現文化論	欧米文学、日本古典文化論、中国文化論、映像・現代文化論		
	言語科学	言語科学		
	スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学		
	アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学		
人間科学	心理学	心理学	19名	7名
	行動科学	行動科学		
	社会学	社会学		
	地域科学	地域科学		

専門研究を後押しする豊かな環境のもと、栄えある受賞者が続出

北大大学院文学院の大学院生は、国内屈指の恵まれた環境の中、国内外で高く評価される研究成果を残しています。

〈2022年度 受賞者情報〉
- 応用哲学会年次研究大会 応用哲学会発表賞 稲荷森輝一さん（博士後期課程）
- 小林秀雄賞 朴舜起さん（博士後期課程）
- 日本グループ・ダイナミックス学会 優秀学会発表賞 貴堂雄太さん（博士後期課程）
- 日本認知科学会 大会発表賞 晴木祐助さん（博士後期課程）
- 日本心理学会大会 特別優秀発表賞 市村風花さん（修士課程）
- 日本人間行動進化学会 若手発表賞 米村朱由さん（修士課程）
- 新北海道美術協会展新人賞 石正萌さん（修士課程）

このほかの年度の受賞情報はこちらよりご覧いただけます。 https://www.let.hokudai.ac.jp/research/award-record

研究者への道

未来の自分が悔いを残さないように

勤務先 北海学園大学 工学部 教授 ｜ 熊坂 亮（くまさか りょう）さん

初めは英語学に関心がありましたが、学部1年のドイツ語の授業がとても楽しくて、今の道を歩き出すきっかけになりました。一口に言語研究といっても「標準語」だけでなく「方言」も対象にできること、社会と言語あるいは人間と言語のつながりも研究対象にできることを学んだ学部時代でした。

博士後期課程に進むということは、乳児が「好きなときに好きなだけ寝ていられる」ように「好きなときに好きなだけ研究に没頭できる」特権を与えられることです（うちの乳児たちはあまり行使してくれませんでしたが）。その一方で研究に没入できる幸せは学術的かつ経済的な不安とつねに表裏一体であり、頂上がなかなか見えてこない長いはしごを登り続けるようなものでした。その果てしない道のりのなかで、スイス政府奨学金を取得して行ったスイス留学という人生の大きな糧となる経験や手を差し伸べてくれる方々との出会いがあり、幸いなことに生業を獲得して現在に至ります。さまざまな可能性に満ちた皆さんに「博士を目指しましょう」と無責任に言うことはできませんが、人生に「する」ことによる後悔と「しない」ことによる後悔の両方があるならば、どちらが未来の自分にとってより深い後悔になりそうか。これが一つの物差しになるのではないかと感じています。あなたの心は何と言っていますか?

PROFILE
平成13年北大文学部を卒業後、北大大学院文学研究科修士課程言語文学専攻を経て平成21年12月に「博士（文学）」を取得。平成23年より北海学園大学工学部に勤務し、平成29年より現職。専門はドイツ語学のなかでも「スイスのドイツ語」に関する研究。言語的特徴だけでなくスイスの言語状況や言語政策も対象としている。

特色ある大学院教育プログラム

教養深化プログラム

●プログラム設置の背景と目的

大学院教育においては、研究者育成だけではなく、社会の多くの分野で活躍する人材の育成が求められています。教養深化プログラムは、教員や公務員、民間企業等への就職を希望する学生を対象とするプログラムです。

学部を卒業してすぐに就職するのではなく、修士課程に進学し、専門分野の研究をさらに深めるとともに、人文社会科学諸分野の総合的な学修と、文理融合・学際的な学修に加え社会で役立つジェネリックスキル※の習得を実践することにより、高度な専門知識を有し即戦力となる人材を育成します。博士後期課程の学生にとっても、幅広いキャリアが開けるでしょう。

※ジェネリックスキル：社会人として活躍できる能力のこと。具体的には「知識活用力」、「課題解決力」、「コミュニケーション力」、「チームワーク・リーダーシップ」等の社会で役立つ汎用的な力を指す言葉として使われています。

教養深化科目群（プログラム生限定科目）

教養深化特別演習（基礎・総合）
- 多角的に分析し複合的に考察・表現する能力を身につけます。
- 専門研究に関連づけた実践を通じて、総合力の一層の充実を図ります。

サイエンスリテラシー特別演習
- 数理的思考とデータ処理・活用法を学びます。
- 科学研究の最先端に触れ、科学的リテラシーを身につけます。

教養深化特別講義
- 多様な視点から物事を俯瞰的に捉える力を養う。

＋

ジェネリックスキル科目群（大学院共通授業科目）

ジェネリックスキル特殊講義 / ジェネリックスキル特別演習
- 文系学生向けのキャリアマネジメントやキャリア形成、交渉学やプレゼンテーション技法等を学びます。

修了要件を満たすとディプロマを取得できます。
国内外の企業、公的機関等で活躍できる人材に!

人間知・脳・AI教育プログラム（CHAIN※教育プログラム）

●プログラム設置の背景と目的

人文社会科学・脳科学・AI研究が交差する地点で「人間」について多角的に学ぶ文理融合型の教育プログラムです。人文社会科学、神経科学、人工知能の各領域を専攻する大学院学生が、所属大学院を超えて学際的共同研究に参画し、関連する知識・技能を学びながら、それぞれの専門的知見・技能をも深めていきます。必要な単位を修得した履修生には、修了証書が授与されます。

※CHAIN：Center for Human Nature, Artificial Intelligence, and Neuroscience 人間知・脳・AI研究教育センター

修士課程1年から5年間で履修する場合（履修例）

人文社会系
- 修士課程2年間で人間知序論I,II/入門ベイジアン・モデリング/ディープラーニング演習/脳科学入門/SS※/WS※を修了。
- 博士後期課程3年間で国内研究室インターン/研究留学/SS/WSを修了。

自然科学系
- 修士課程2年間で人間知序論I,II/ディープラーニング演習/脳科学入門/哲学特殊講義/SS/WSを修了。
- 博士後期課程3年間で研究留学/企業インターン/SS/WSを修了。

博士後期課程1年から3年間で履修する場合（履修例）

人文社会系
- 修士課程2年間で各自専門の修士課程を修了。
- 博士後期課程3年間で人間知序論I,II/国内研究室インターン/脳科学入門/ディープラーニング演習/研究留学/入門ベイジアン・モデリング/SS/WSを修了。

自然科学系
- 修士課程2年間で各自専門の修士課程を修了。
- 博士後期課程3年間で人間知序論I,II/国内研究室インターン/脳科学入門/ディープラーニング演習/研究留学/哲学特殊講義/SS/WSを修了。

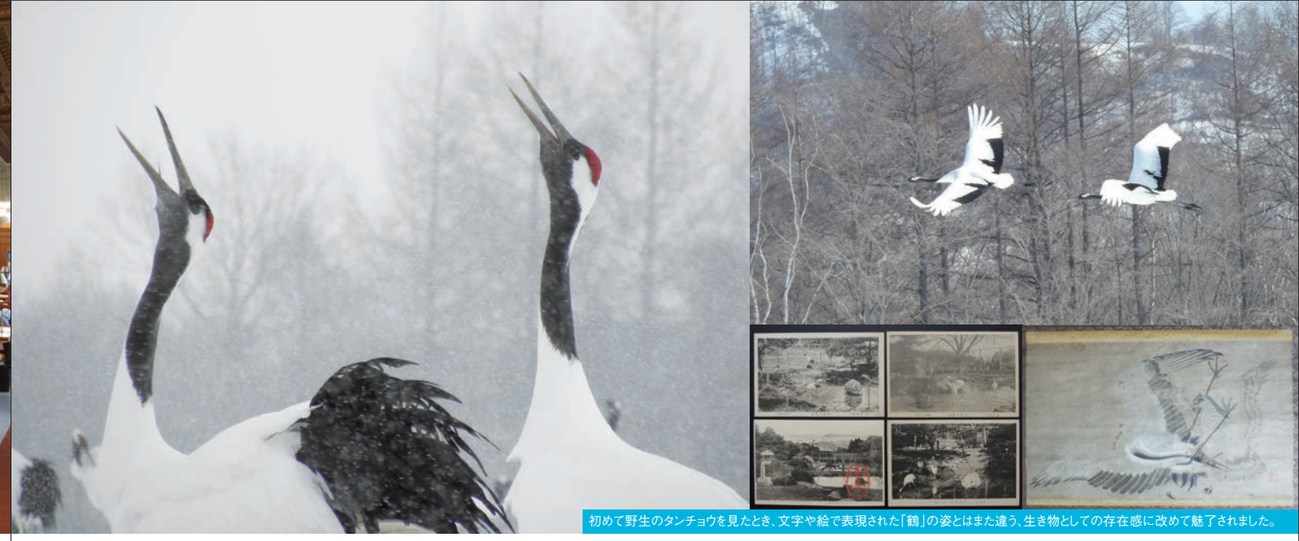
※SS:サマースクール ※WS:ウィンタースクール

各大学院での博士号取得と同時に「人間知」の修了証書を取得
本プログラム修了後は、研究者として学際的研究に従事したり、「人間」にも科学技術にも通じた高度人材として企業に就職したりといった道があります。

研究者に学ぶ
～専門研究の魅力を知る～

北大文学部の教員は学生をいざなう教育者であると同時に、各自が関心を持つ研究テーマに取り組む研究者でもあります。
学部移行とともに専門研究のスタートラインに立つ皆さんに向けて、4人の教員が専門研究の魅力を紹介いたします。

アメリカの小説家エドガー・アラン・ポーの草稿調査を行ったニューヨーク公共図書館とその外観。



初めて野生のタンチョウを見たとき、文字や絵で表現された「鶴」の姿とはまた違う、生き物としての存在感に改めて魅了されました。

欧米文学研究室

竹内 康浩 教授

TAKEUCHI Yasuhiro

竹内先生の研究テーマは何ですか?

19世紀以降から現代までのアメリカ文学を研究しています。最近は、作品中の未解決殺人事件や奇妙な自殺に注目して、マーク・トウェインの『ハックルベリー・フィンの冒険』、J. D. サリンジャーの『ナイン・ストーリーズ』などを読み解き、日本語と英語で研究成果を発表するよう努めています。

マーク・トウェインたち米文学作家が執着した正解のない問いかけから目を背けずに生きていく。

文学とは何なのでしょうか。子供の頃から本を読むのが好きならば、あらためてその意味を問うまでもなく、文学は大切なものでしょう。そうでない人たちが文学と聞いて真っ先に思い浮かべるのは、国語の授業かもしれません。恥ずかしながら私自身も、国語の教科書のおかげで宮沢賢治の「永訣の朝」や夏目漱石の『こころ』に初めて触れることが出来ました。どちらも気持ちを揺さぶられながら読みましたが、国語は教科なのでそれだけでは済まされません。テストがあります。そして、多くの人と同じように私も不満に思っていました――国語には決まった答えがないじゃないか!

それは国語が苦手な人の負け惜しみのようにも聞こえます。けれど、今思えば案外その不満は文学の本質を突いているような気もします。少なくとも文学の研究とは、そもそも答えが出ない問題について考え続けることのようにも思うのです。

宮沢賢治も夏目漱石も、解決が不可能な問題に取り憑かれていたのではないでしょうか。「永訣の朝」は、賢治の妹が亡くなった直後に書かれた詩ですが、そもそも人の死に解決策はありません。人は必ず死にます。これから先どんなに理想的な社会が建設されようとも、そこでどれほど人が幸福に生きようとも、死の問題は残り続け、人は苦悩するでしょう。『こころ』では親友に対する主人公の罪の意識が描かれますが、罪もまた（法的には償えても）本質的には解決できないのではないでしょうか。罪によって失われたものと償いによって返済されたものは、実は別のものなのですから。よく考えてみて下さい。

著書 *Mark X* が批評部門の候補となったエドガー賞の晩餐会で

なんだか授業のようになってしまいましたが、このような問題への関心が私の研究の根底にあります。私が専門にしているアメリカ文学の作家も――『トム・ソーヤの冒険』のマーク・トウェインも、『グレート・ギャツビー』のスコット・フィッツジェラルドも、『ライ麦畑でつかまえて』のJ. D. サリンジャーも――それぞれにとって根源的な問題に執着し続けています。それはおそらく、答えがないからといってそこから目を背けていては、誠実に生きることは不可能だからではないでしょうか。

略歴

1990年　東京大学文学部卒業
1993年　東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了
　　東京大学文学部助手
1995年　一橋大学教養部専任講師
2000年　同助教授
2003年　奈良女子大学大学院人間文化研究科助教授
2008年　北海道大学大学院助教授
2014年　同准教授を経て、同教授
2019年　改組により北海道大学大学院文学研究院教授（現在に至る）

博物館学研究室

久井 貴世 准教授

HISAI Atsuyo

久井先生の研究テーマは何ですか?

鳥類学を軸に関連する諸分野をつなぎ、様々な資料から鳥類をめぐる歴史を探る研究を「歴史鳥類学」と位置づけて、研究に取り組んでいます。江戸時代のツルが専門ですが、近代日本の動物園における動物管理の歴史や、アイヌ民族と動物との関わりなどにも関心を向けています。

かつてどのように生息し、人とどう関わってきたか文理融合の視点で明らかにする野生動物の「歴史」。

皆さんは、野生動物の「歴史」について考えたことはありますか?札幌では近年、ヒグマやエゾシカなどの野生動物の話題に触れる機会が増えていますが、たとえば江戸時代の北海道では、彼らはどこで、どのように生きてきたのでしょうか。動物自身はその記録を残すことはできませんが、過去の動物の姿を知るための手がかりは、様々な歴史資料のなかに残されています。

私は鳥類のツルを専門に研究を行っています。ツルといえば、北海道では道東を中心に生息するタンチョウが有名ですが、実はタンチョウは、明治時代頃までは札幌にも生息していました。「昔はこんな場所にもタンチョウがいたのか!」そんな驚きがこの研究を始めるきっかけでした。

野生動物に関する歴史を解明するためには、古文書や絵画資料など、あらゆる歴史資料から動物に関する記録を探し求める必要があります。同時に重要になるのが、野生動物そのものについての知識や観察経験です。生き物としての野生動物の生態や行動を知らなければ、資料上の動物の記録を正しく読み解くことができないからです。過去の記録と現在の知識を素材として、分布や生態、行動など「野生動物自身の過去の実態」と、狩猟や保護、人との軋轢、食文化など「動物と人との関わり」の二つの側面から、野生動物に関する歴史を紐解いていきます。

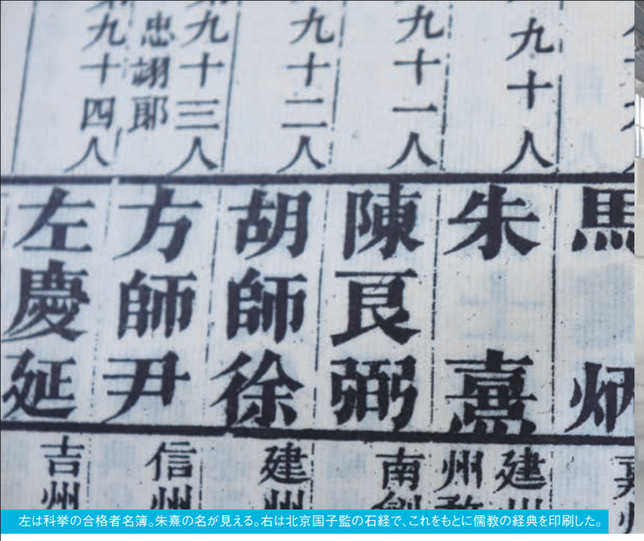
ツルを例にとると、江戸時代の日本列島には全国各地にツルが生息していたことや、オオタカやハヤブサなどの猛禽類を使ったツルの狩猟（鷹狩）が行われていたこと、ツルを塩漬けにした「塩鶴」が珍重され、ツル料理は最上級のおもてなしだったことなど、現代では考えられないような興味深い事実が次々と明らかになります。このように明らかにした研究成果は、現代社会におけるツルと人との関わりの問題を考えるうえでも、有効に活用されています。

野生動物の研究は理系分野のものと思われがちですが、決してそんなことはありません。「文系だけど動物に関わる研究がしたい」、「文系・理系の枠を超えた研究がしたい」という皆さん。皆さんの豊かな発想と熱意で、野生動物に関する歴史を解き明かしてみませんか。

自然と集まってくるツルグッズ。着用のジャケットもツルの刺繍入り!

略歴

2009年　酪農学園大学環境システム学部生命環境学科卒業
2011年　北海道大学大学院文学研究科修士課程修了
2016年　北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了
2016年　公益財団法人日本生態系協会専門研究員
2018年　特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所研究員
2019年　日本学術振興会特別研究員PD 北海学園大学
2020年　北海道大学大学院文学研究院准教授（現在に至る）



左は科挙の合格者名簿。朱熹の名が見える。右は北京国子監の石経で、これをもとに儒教の経典を印刷した。

東洋史学研究室

梅村 尚樹 准教授

UMEMURA Naoki

梅村先生の研究テーマは何ですか?

専門は中国宋代の社会史・思想史。科挙や、学校で行われる儀礼祭祀を手がかりに、士大夫社会を研究しています。制度だけでなく思想の面からも分析する点に特徴があり、朱子学を始めとする思想の展開が、社会とどう関わっていたのかに関心があります。

受験競争がもたらしたものとは?
学歴社会の原点を考える ——中国近世の社会と思想——

現代日本は「学歴社会」であると言われますが、それはいったいどういう社会なのでしょうか。少なくとも中国・韓国にもよく似た特徴の社会があり、その源流をたずねると中国の科挙制度に行き当たります。

科挙制度の根幹はペーパーテストなので、受験者は儒教の経典を暗記し、詩を含めた高度な文章作成能力が求められました。何段階にもおよぶ厳しい試験を突破した先には官僚への道が開かれ、優秀な成績で合格した場合には、将来的に大臣や宰相となって国家を動かす可能性すら与えられたのです。そうなると当然、多くの人々が合格を目指すため、その競争は熾烈を極めます。

科挙に合格し、華々しい活躍をした人は歴史上に多く存在します。しかし一方で、当時の社会を考えるときに重要なのは、合格にまで至らなかった無数の人たちの存在です。幼い頃から科挙合格を目指して難しい古典の勉強を重ね、成人する頃には三年に一回行われる科挙試験を受けるのですが、二、三回の挑戦で合格できれば運のいい方で、中年や老人になっても合格できず、受験勉強と試験を繰り返す人も多くいました。

そうした人々は、なぜそこまでのリスクを背負って科挙受験に挑み続けるのか。それを可能にした金銭的余裕はどのようにして生み出されていたのか。あるいはそうした無数の不合格者は社会的にどのような意味があったのか。彼らによって作られる社会とはどのようなものだったのか。社会の価値観はどう変わったのか。——こうした問いが自然とわき上がってくるのです。

歴史学は過去の人々の営みを描き出す学問です。過去の人が書いた文章を繰り返し丹念に読むことで、書き手のことや当時の様子が、徐々にリアリティーをともなって感じられるようになるのです。過去の人々の目を通して社会を見つめた時、そこに現れる世界に共感を覚えることもあるでしょうし、新鮮な驚きを覚えることもあるでしょう。過去の人との出会いを通じて何を感じ取るのか、それは皆さんに委ねられた無限の可能性と言えるかもしれません。

儒教経典の一つである『周礼』とその注釈を読む研究会。

略歴

2005年　東京大学文学部卒業
2007年　同大学院人文社会系研究科修士課程修了
2014年　同大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学
2014年　同大学院人文社会研究科教務補佐員
2015年　博士（文学）取得
2019年　日本学術振興会特別研究員（PD）
2020年　北海道大学大学院文学研究院准教授（現在に至る）

見ているものに対応する脳活動を測定したり、画像の色や輝度を測定したり、測定は研究の要です。

心理学研究室

金子 沙永 准教授

KANEKO Sae

金子先生の研究テーマは何ですか?

人間がどのようにして世界を見ているのか、視覚の中でも最も基本的な要素である明るさ・色・形・運動などの脳内での情報処理のあり方に関心を持って研究をしています。研究のツールとして錯覚を利用することも多いです。

知覚の不思議を観察・実験で掘り下げる。
文系と理系の間に位置する知覚心理学の面白さ。

私の専門は知覚心理学で、特にヒトの視覚について研究をしています。心理学とは高校までの勉強ではまず接することのない学問で、また一般的に持たれているイメージとはかけ離れた学問であるようにも感じています。知覚心理学はその中でも特に「心理学らしくない」と思われる分野かもしれません。

知覚心理学とは視覚や聴覚などの感覚（＝光が目に入り神経が応答する）とそれによる知覚（＝「赤い」という感じ）がどのような仕組みで生じるのかを考える学問です。光の量や波長成分は測定することができますが、光を見ている人がその光をどれだけ「赤い」と感じているかは外から測定できない「こころ」の領域に属します。私の研究室では、明るさ・色・形・運動などに関する錯覚に特に関心を持って、同じ紙でも白っぽく見えたり黒っぽく見えたりする理由や、見ている時間の長さによって線の傾きが変わって見える理由などについて、様々な視覚刺激（画像や動画）を作成し実験を繰り返しています。

知覚心理学は立派な心理学であり文系学問ではあるのですが、一方で実験的アプローチを基本とします。人間の感覚の仕組みを神経細胞・脳をハードウェアとした情報処理システムとして扱う都合上、しばしば「畳み込み積分」や「ナイキスト周波数」といった工学的概念も扱います。また、当然ながら脳や神経細胞に関する知識も必要になります。つまり、この分野はいわゆる「文系」と「理系」の間にある学際的なフィールドであるとも言えます。

とはいえ知覚心理学は決して敷居の高い学問ではありません。むしろ日常的な生活と密接に関わった最も身近な学問であると私は考えています。なぜならば、私たちの研究の根本にあるのは現象観察、つまり自分で見て、試して、確かめてみることだからです。自分自身を被験者としていつでも実験することができる、この楽しさ・自由さは他の研究分野にはない強みだと思います。ふと気づいた不思議な見え方や新しく見つかった面白い錯覚を自分で実験に落とし込んで確かめることができる、この面白さを多くの人に知ってもらいたいです。

実験用の簡易防音室にて今では貴重なCRTディスプレイと。

略歴

2007年　東京大学教養学部卒業
2013年　東京大学大学院総合文化研究科 博士課程修了（学術（博士））
2013年　日本学術振興会海外特別研究員（カリフォルニア大学サンディエゴ校）
2015年　日本学術振興会特別研究員（SPD）（東北大学電気通信研究所）
2018年　東北大学学際科学フロンティア研究所 助教
2021年　北海道大学大学院文学研究院 准教授（現在に至る）

入試関連情報

文学部に進学するための入試は以下のとおりです。

			募集人員	令和6年度試験日	試験科目
一般選抜	総合入試文系	前期日程	100名※	令和6年2月25日	国、地歴・数、外
	学部別入試		118名		
		後期日程	37名	令和6年3月12日	小論文
帰国生徒選抜			若干名	令和5年11月19日	（二次）課題論文、面接
私費外国人留学生入試			若干名	令和5年11月19日	（二次）小論文、面接ほか

※一般選抜（前期日程）では、総合入試文系と文学部のいずれを受けても試験科目は同じです。ただし、定員・倍率・合格最低点などは異なります。総合入試文系で入学した学生は、２年次進級時に法・経済・教育・文学部のいずれか（理系学部も可）に移行しますが、学部ごとに移行人数が定められており、文学部へは30名が移行します（所属学部は本人の志望と入学後の成績に基づいて１年次終了時に決定します）。文学部一般選抜後期日程では、「小論文」のみを課します。

文学部では総合型選抜、学校推薦型選抜、編入学試験は行っていません。

一般選抜（後期日程）に総合入試はありません。総合入試文系、文学部前期日程、文学部後期日程のいずれの試験に合格して入学しても、文学部に進級する場合、履修する授業や必要な単位などの条件は特に変わりありません。ただし、１年次のクラスは総合入試文系での入学者と学部別入試の入学者で異なります。
詳細および最新情報は「募集要項」のほか、以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ→「入学案内」　https://www.hokudai.ac.jp/admission/

インターネットで北海道大学や文学部の情報を！

ウェブサイト

文学部に関する総合情報はここに。知りたいことの詳細情報は公式サイトをご覧ください。

https://www.let.hokudai.ac.jp/

Twitter

教育研究情報、学内行事など学生向け情報を中心に更新。緊急時の情報共有メディアとしても利用します。

https://twitter.com/HU_Bungaku

Instagram

文学部の魅力を画像で発信。教育研究情報、イベント情報のほか、北大の豊かな自然環境も満載です。

https://www.instagram.com/hu_bungaku/

Facebook

教員や学生の研究成果や研究活動を中心に情報を発信しています。

https://www.facebook.com/Hokudai.Humanities.HumanSciences/

学生サポート情報

入学料・授業料減免

入学料、授業料の納入が困難な学生に対して、入学料の全額または半額、授業料の全額、半額もしくは４分の１を減免または徴収を猶予する制度があります。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ
→［学生生活］→［各種手続き・証明書］→［入学料・授業料］

参考：
令和５年度入学料 282,000円
令和５年度授業料 年額535,800円
※金額は改定されることがあります。

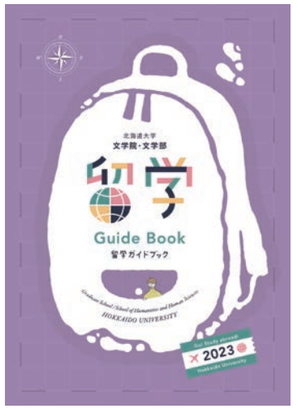
奨学金

北海道大学で取り扱っている奨学金は、日本学生支援機構、民間・地方自治体等奨学団体の奨学金があります。奨学金は種類によって返還義務のある「貸与」及び返還義務のない「給付」とに分けられます。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ
→［学生生活］→［各種手続き・証明書］→［奨学金］

国際交流支援

文学院・文学部では留学生受入、在学留学生の支援、学生の海外派遣など国際交流に関わる業務を行っています。また、文学部の学生が、協定校に交換留学する際の相談受付や留学先の情報提供、申請手続きの支援、協定校との仲介、留学中の情報交換なども行っています。留学に関心のある人はお気軽に文学事務部・教務担当窓口にお越しください。



◀『文学院・文学部留学ガイドブック』を配布しています。

国際交流担当教員

ラフェイ　ミシェル　教授　*LA FAY Michelle*
■研究分野
日本におけるプロテスタントキリスト教、内村鑑三

学生相談室

学生生活の中では様々な不安や悩みを抱えることがあります。学生相談室では、その様な時に専門のカウンセラーが、みなさんの話を聞き、適切なアドバイスを行います。北海道大学全体の相談室の他に、文学部の建物内にも学生向けの相談室を設けています。

北海道大学　学生相談室
北海道大学トップページ
→［学生生活］→［キャンパスライフサポート］
→［学生相談総合センター学生相談室］

文学部　学生相談室
文学部トップページ
→［総合］→［学生生活］→［学生相談室］

▲文学部学生相談室

保健センター

北海道大学には、学生の保健衛生及び保健指導を行う保健センターがあります。専門医・カウンセラーによる健康相談と応急的な診療の他、定期健康診断や健康診断書・健康診断証明書の発行などさまざまな支援を無料で行っています。

北海道大学 保健センター
https://www.hokudai.ac.jp/hoken/

キャリアセンター

就職活動をはじめ、学生ひとりひとりのキャリアデザインを支援し、社会人としての自立のサポートをします。就職ガイダンスや就職相談の他、インターンシップ支援、公務員受験支援、教員採用試験支援なども行っています。

北海道大学キャリアセンター
https://cc.academic.hokudai.ac.jp/

キャンパスマップ

Access

新千歳空港

- ●JR千歳線
  快速エアポート 37分
- ●高速バス
  札幌都心行 70〜80分

JR札幌駅 ▶ 地下鉄南北線 北12条駅

徒歩12分　徒歩5分

北海道大学 文学部

文学部周辺地図

国立大学法人

北海道大学 文学部

〒060-0810　札幌市北区北10条西7丁目

連絡先　文学事務部教務担当

電　話　011-706-3005 / 011-706-3004（直通）

ＵＲＬ　https://www.let.hokudai.ac.jp/

School of Humanities and Human Sciences, Hokkaido University
Kita 10, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, 060-0810 Japan

◎制作・発行　北海道大学 大学院文学研究院
◎編集担当　橋本雄、近藤智彦、阿部嘉昭、宮内泰介（広報誌専門部会）
飯塚理恵、森岡和子（研究推進室）
◎企画・編集　株式会社スペースタイム
◎デ ザ イ ン　株式会社デクスチャー / 小杉充司

■本誌に掲載されている情報は2023年7月現在のものです。■本誌の無断複写（コピー）・転載は著作権法上での例外を除き、禁じられています。